

平成31年2月8日

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会  
会員各位

(一社) 全日本特殊鋼流通協会  
調査研究委員会  
委員長 井上 寿一

拝啓 向春の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会の調査研究事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。毎年年末に実施しております「経営環境等に関するアンケート」の結果が纏まりましたので、ご報告申し上げます。

敬具

## 第17回経営環境等に関するアンケート調査の結果について

調査対象：2018年1月～12月

(回答数：118社/241社、回答率：49%)

### 1) 収益に関して

(ア) 昨年(2018年1月～12月)の売上金額は最盛期の売上と比べて何%ぐらいか？

最盛期を超えているが37.1%(1～5%超：17.2%、6～9%超：9.5%、10～19%超：7.8%、20～29%超：2.6%、30～39%超：0%、40%以上超：0%)で、最盛期より少ないが62.9%(1～5%減：7.8%、6～9%減：12.9%、10～19%減：18.9%、20～29%超：11.2%、30～39%減：4.3%、40%以上減：7.8%)でした。

(イ) 現在の受注量は物流・加工能力に対してどれぐらいか？

100%を超えているが24.8%、能力が余っているが75.2%(1～5%余：18.8%、6～9%余：18.8%、10～19%余：25.6%、20～29%余：11.1%、30～39%余：0.9%、40%以上余：0%)でした。

(ウ) 現在の売上金額は採算ラインに乗っているか？

採算が取れているが78.6%で、採算が取れていないが21.4%(1～5%少：10.3%、6～9%少：3.4%、10～19%少：7.7%、20～29%少：0%、30～39%少：0%、40%以上少：0%)でした。

### 2) 経営改善に関する取り組み

(ア) 売上増加に対する取り組み

営業活動の強化が33.3%、新規ユーザーの開拓が25.1%、トッ

プセールの強化が7.8%、加工割合の増加が23.4%、新分野進出が8.7%、その他が1.7%でした。

(イ) コスト削減に対する取り組み

仕入・外注先に対する値下げ要請が16.1%、仕入・外注先の変更集約化・内製化が19.9%、物流費の削減が15.5%、消耗品費の削減が28%、接待交際費の削減が14.3%、その他が6.2%でした。

(ウ) 人件費削減に対する取り組み

非正規社員の削減が5%、正規社員の削減が1%、残業の削減が65%、役員報酬の削減が9%、給与カットが1%、その他が19%でした。

(エ) 資金に対する取り組み

手元資金の確保が75.7%、借入金の短期から長期への変更が9.7%、雇用調整助成金の申請が2.9%、保険解約と資産売却が2.9%、その他が8.8%でした。

### 3) 与信管理について

何もしていないが23.1%、ファクタリングなどで保険を掛けているが25.2%、信用調査機関で定期的に調査しているが49.6%、与信管理の方策を学びたいが2.1%でした。

### 4) 空洞化について

(ア) 海外流出しているとおもわれますか？

流出していないが21.1%、流出しているが78.9%（10%未満流出している：41.3%、10%以上流出している：30.3%、30%以上流出している：7.3%）でした。

主な流出先は

中国が38.8%、韓国が9.7%、タイが16.8%、台湾が5.1%、マレーシアが2.1%、フィリピンが1%、シンガポールが1.5%、インドネシアが8.2%、インドが1%、ベトナムが11.7%、メキシコが3.6%、ドイツが0%、東欧が0%、その他が0.5%でした。

流出した仕事は戻ってきているか

戻ってきているが15.8%、戻っていないが84.2%でした。

(イ) 製造業の空洞化の将来は

さらに加速して国内製造業が衰退するが28.6%、現在の状況が継続するが71.4%、収まり再び発展するが0%でした。

### 5) 海外展開について

(ア) 海外での事業活動

すでに出先機関有りが22.1%、進出を検討中が12.4%、展開するつもりは無いが65.5%でした。

(イ) 海外との取引

直接の取引は無いが51.8%、今は無いが今後取引を検討したいが11.6%、現在海外取引を行っているが28.6%、積極的に海外取引を増やすが8%でした。

## 6) 輸入材について

(ア) 輸入材を扱っていますか？

輸入材を扱っているが31.5%（総取扱量に対し、1~5%：26.1%、6~9%：3.6%、10~19%：1.8%、20~49%：0%、50%以上：0%）、扱っていないが68.5%でした。

(イ) 得意先からの支給材で輸入材がありますか？

輸入材があるが12%、輸入材はないが88%でした。

## 7) 商慣行の課題・問題点

(ア) 現金化までの期間

2ヶ月以下が6.7%、3ヶ月が18.5%、4ヶ月が47.9%、5ヶ月が23.5%、6ヶ月以上が3.4%でした。

(イ) 受注金額決定後あるいは請求後、さらに値下げの要請が有りますか？

要請有りが7.8%、要請無しが92.2%でした。

(ウ) 希望したい支払条件は？

現金支払が85.7%、契約時1/2・検収後1/2が8%、契約時1/3・納品時1/3・検収後1/3が0.9%、その他が5.4%でした。

(エ) 金額の記載された注文書を受け取っていますか？

もらっているが37.6%、もらっていないが7.7%、両方あるが54.7%でした。

(オ) 単価交渉について

市況に合わせた単価交渉有りが47.1%、話し合いで価格を決めている38.2%、一律の値引き要請有りが1.9%、品質、納期などを無視した単価交渉が行われるかが5.7%、突然の値引き要請があるが3.2%、海外品など見積合わせをさせられるが2.6%、実質的値引き強要が1.3%、その他が0%でした。

(カ) 発注方法について

無理の無い発注が53%、内示発注が無くなったが6%、突然の数量変更増が5.4%、短納期を強要が8.1%、効率を無視した小LOTの発注が10.7%、少量短納期のコストを客先が負担しないが12.1%、その他が4.7%でした。

(キ) 仕入れについて

問題無しが66.9%、期末・月末などに大量の納品ありが15.3%、遡っての値上げ依頼が5.9%、その他が11.9%でした。

## 8) 人材について

(ア) 社員の高齢化

問題無しが57.3%、問題有りが42.7%でした。

(イ) 今年支給した賞与の総額は前年に比べて

増えたが55.2%、変わらないが37.9%、減ったが1.7%、支給しない5.2%でした。

(ウ) 次年度の昇給について

例年以上に上げるが7%、例年並みが85.2%、例年以下が1.7%、昇給しないが6.1%でした。

(エ) パート、アルバイト、人材派遣などの契約社員

導入しないが22.6%、導入を計画しているが17.4%、現在雇用中で現状維持が49.6%、現在雇用中で今後拡大が5.2%、現在雇用中で今後縮小が5.2%でした。

(オ) 社員採用

春の定期採用を実施大卒が22.3%、高卒が14%、必要に応じて中途採用が52.9%、計画的に中途採用が4.4%、採用はしていないが6.4%でした。

## 9) 金融機関との関係について

良好が42.4%、変化なしが57.6%、悪化が0%でした。

## 10) 今年(2019年1月~12月)の景気について

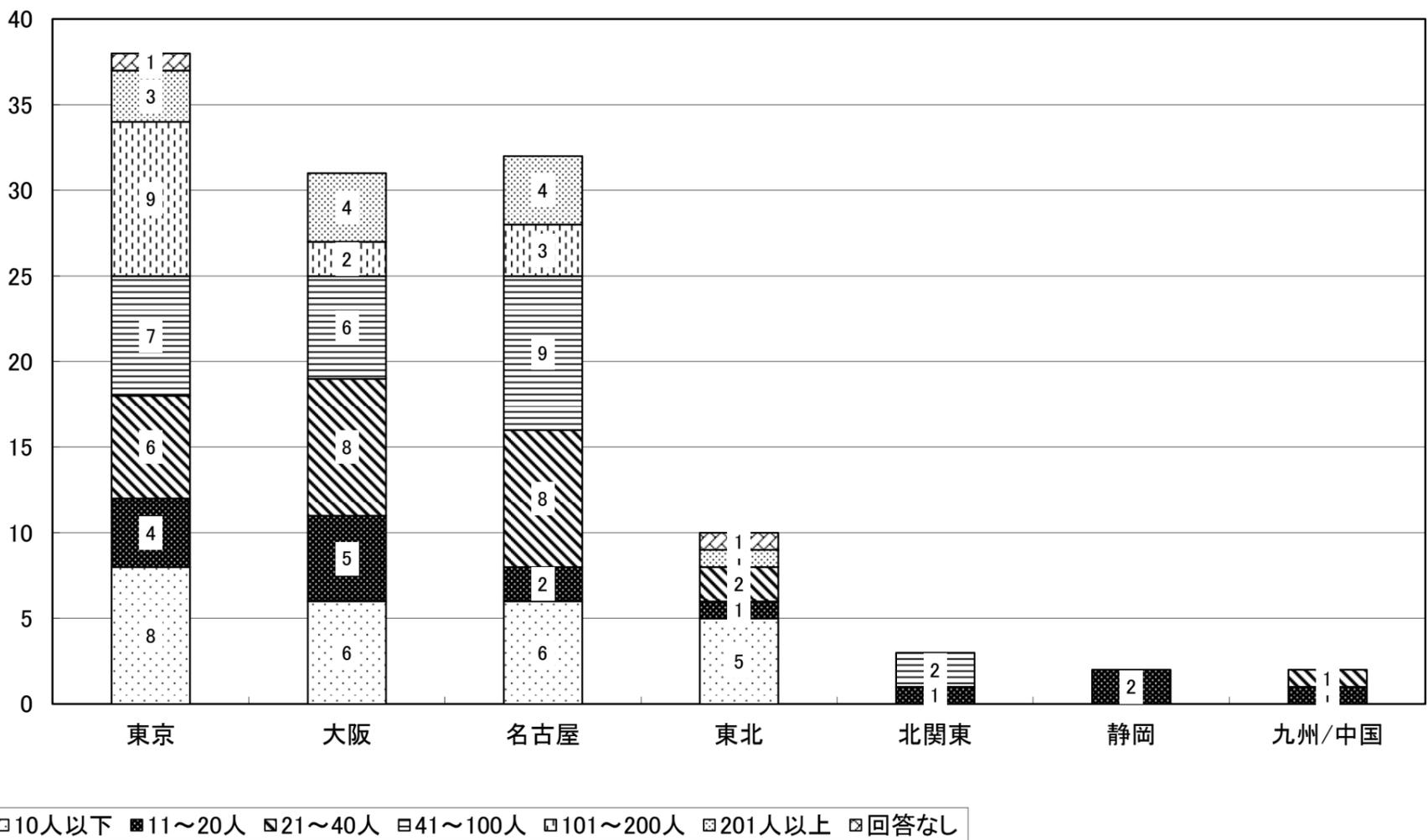
良くなるが16.5%(5%良くなる:4.3%、10%良くなるが0.9%、20%良くなるが11.3%)、変わらないが44.4%、悪くなるが38.2%(5%悪くなるが16.5%、10%悪くなるが20%、20%悪くなるが1.7%)、その他が0.9%でした。

## 11) 自由意見

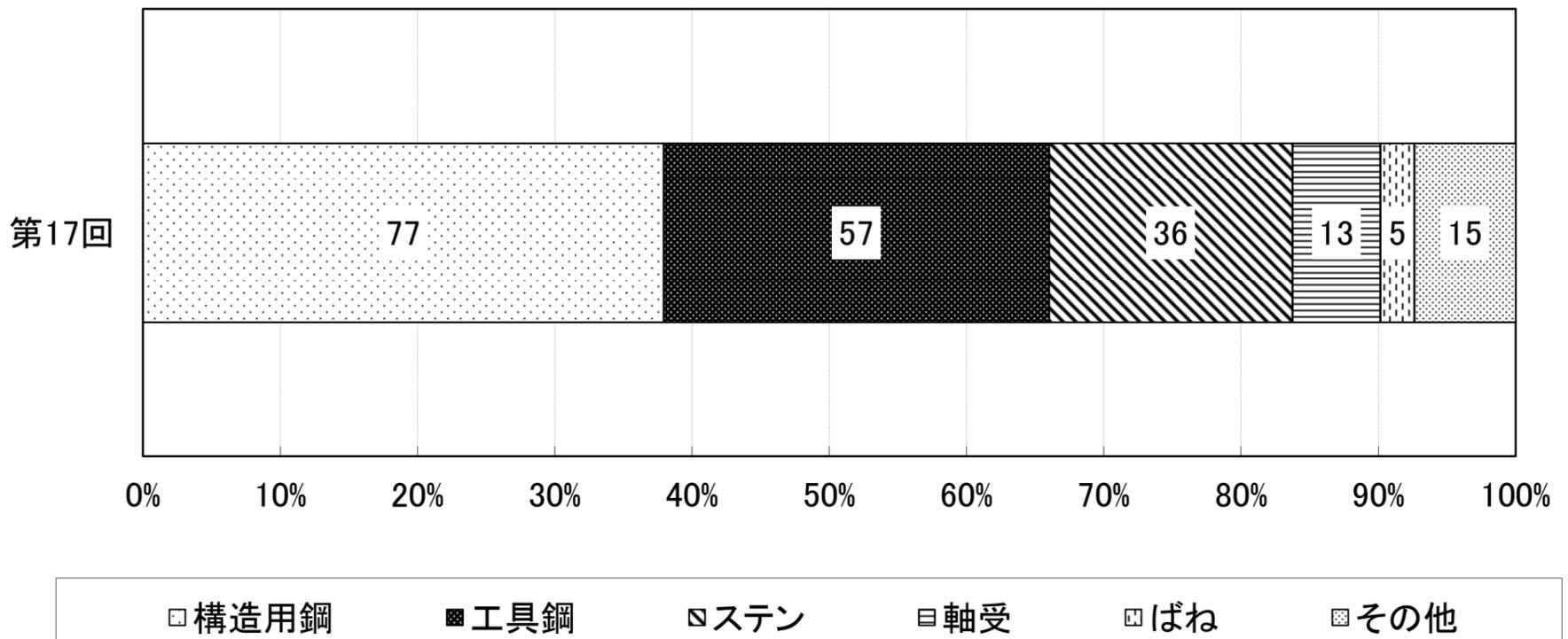
別紙を御参照ください。

以上

## 会社の概要 支部／従業員数



## 会社の概要 取扱商品

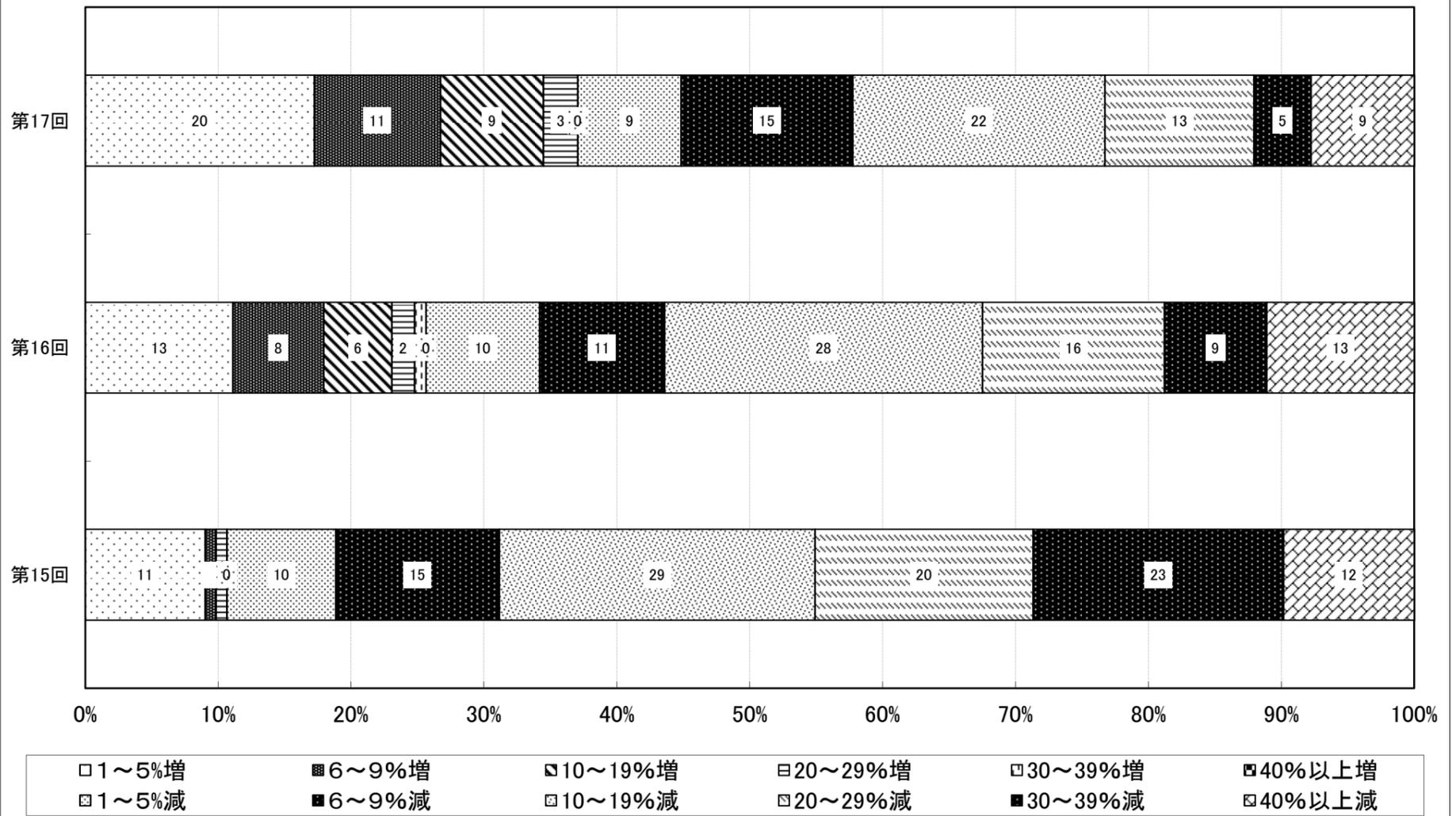


### その他の内容

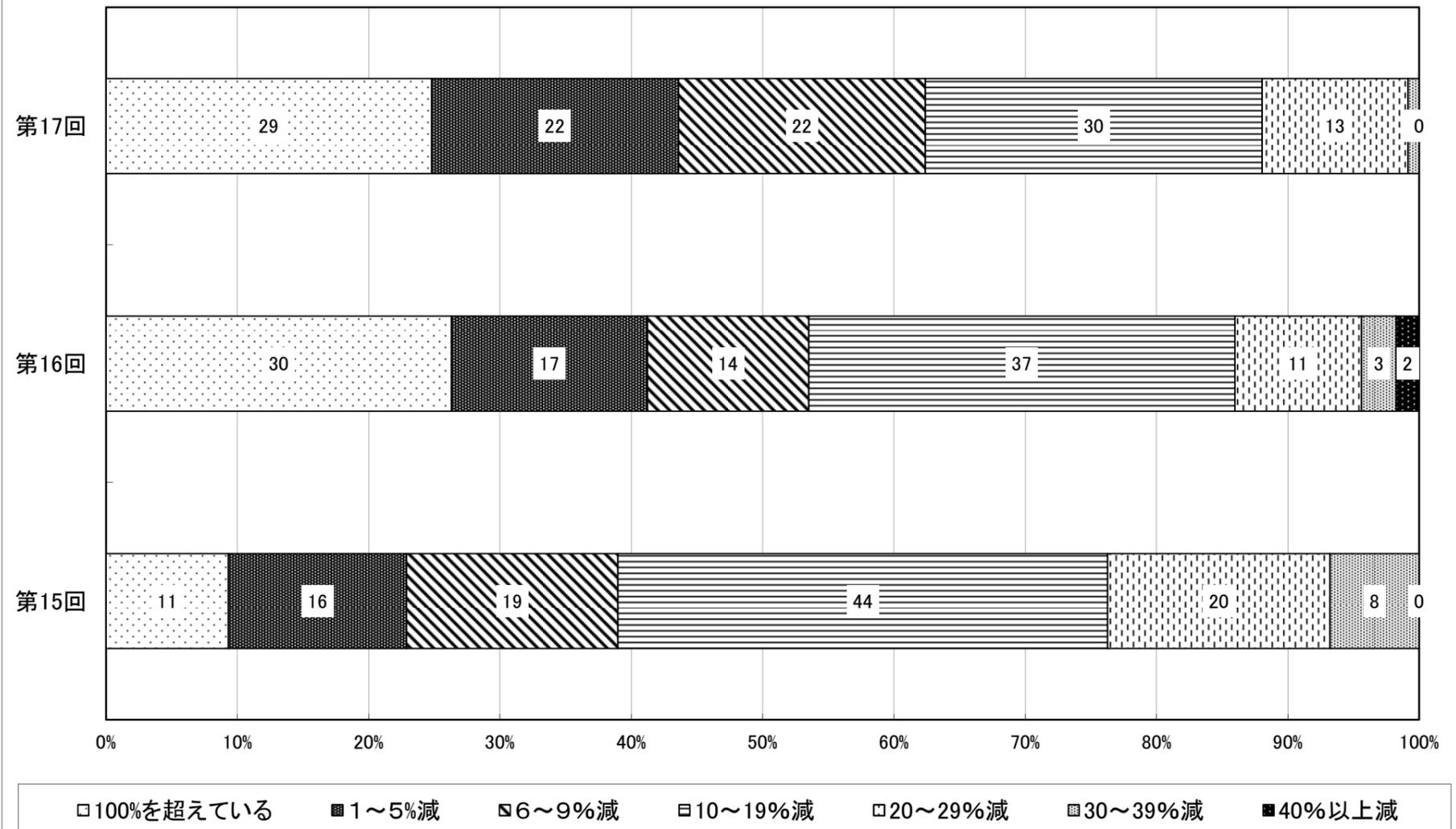
- ・鍛造、歯車用素材、ピストンロッド用素材
- ・特殊鋼二次製品
- ・非鉄金属含み 金属素材全般
- ・電子部品
- ・鍛造品、機械加工品
- ・精密溶断等

- ・高張力鋼板
- ・機械部品、レアメタル他原材料
- ・アルミ他
- ・特注プレート、熱処理
- ・普通鋼(2件)
- ・記述なし 3件

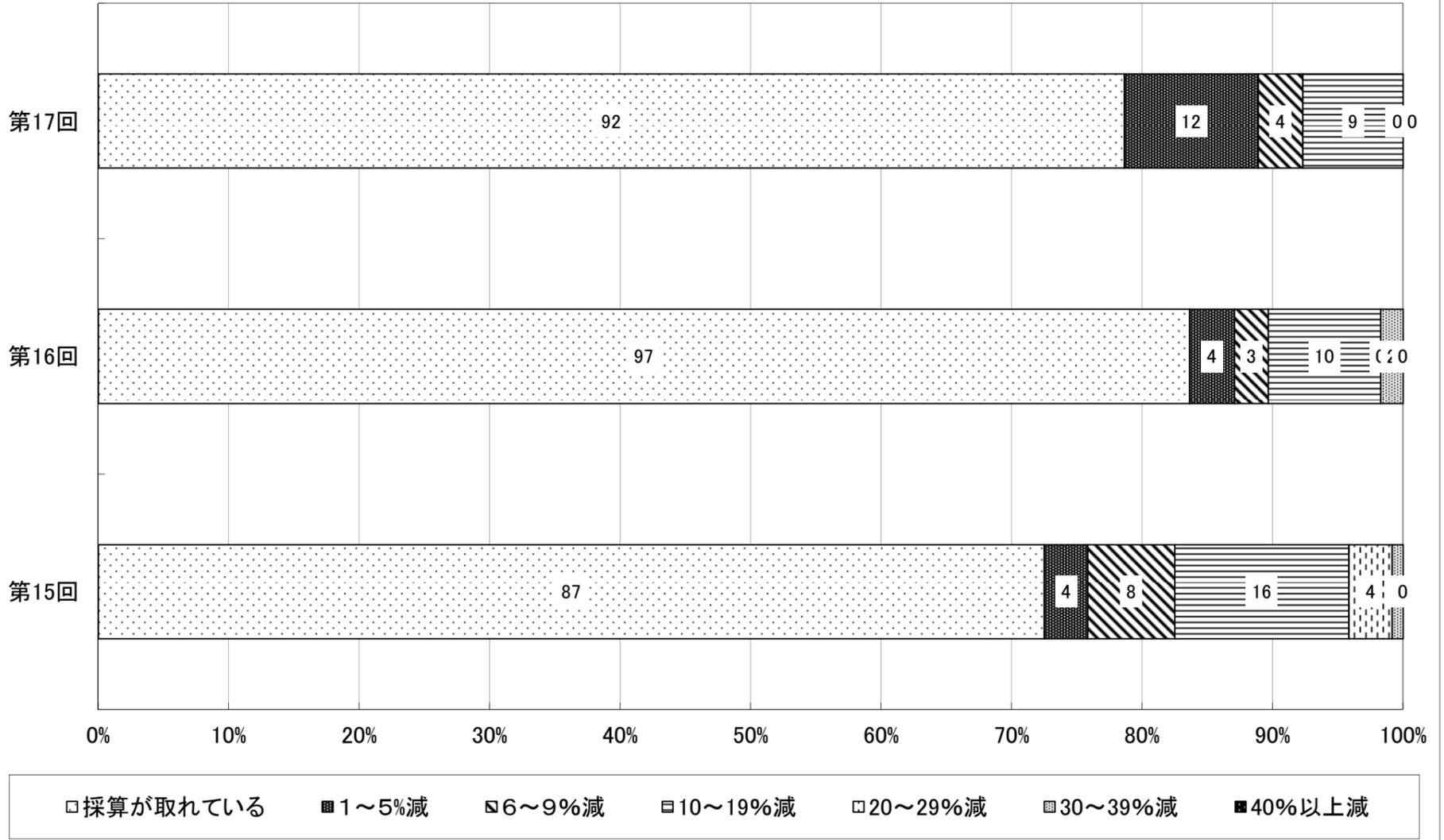
1. 収益に関して  
 (ア) 売上金額が最盛期を越えている・減少している割合



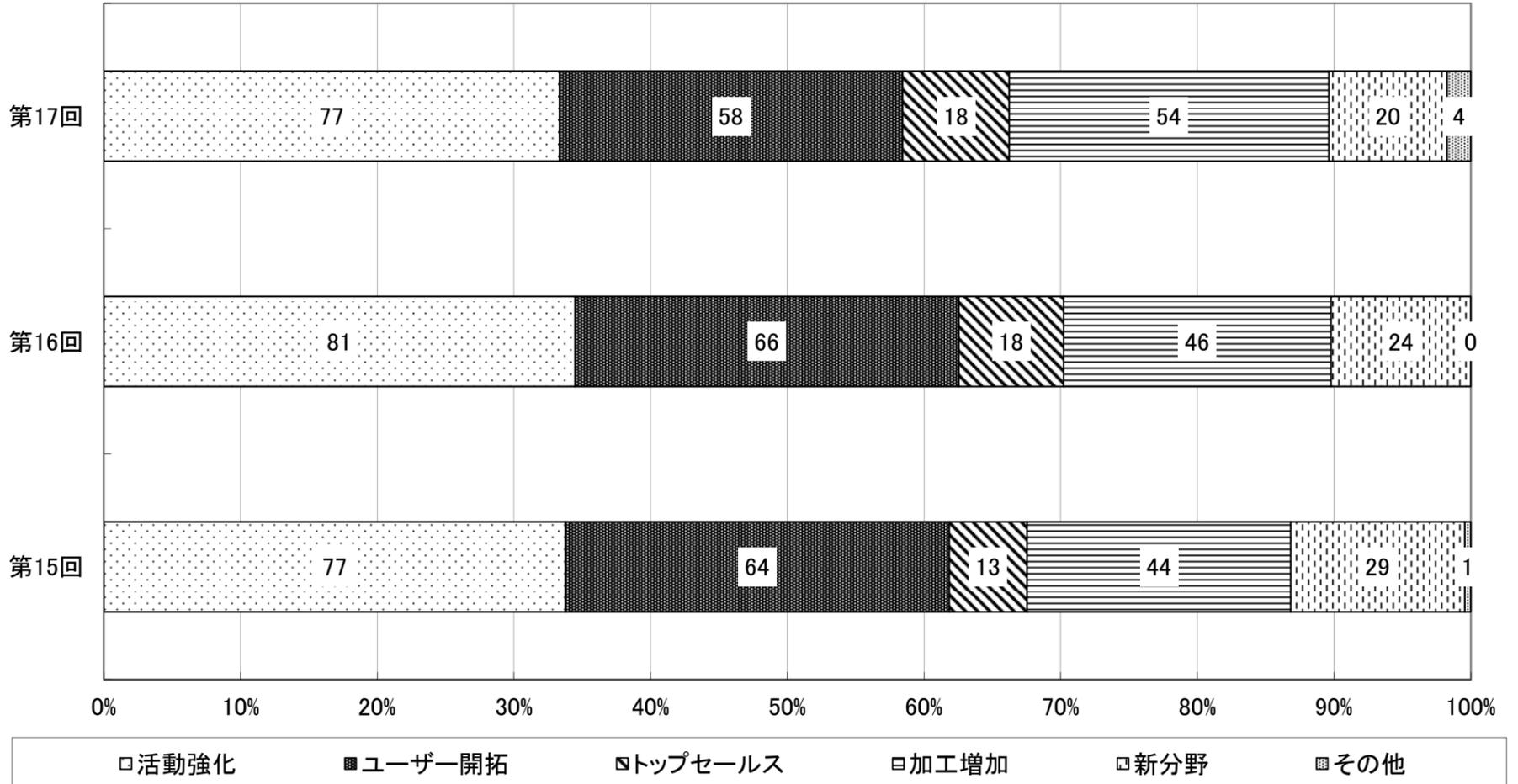
1. 収益に関して  
 (イ) 受注数量は能力に対してどれくらいか



1. 収益に関して  
(ウ)採算ラインに対して



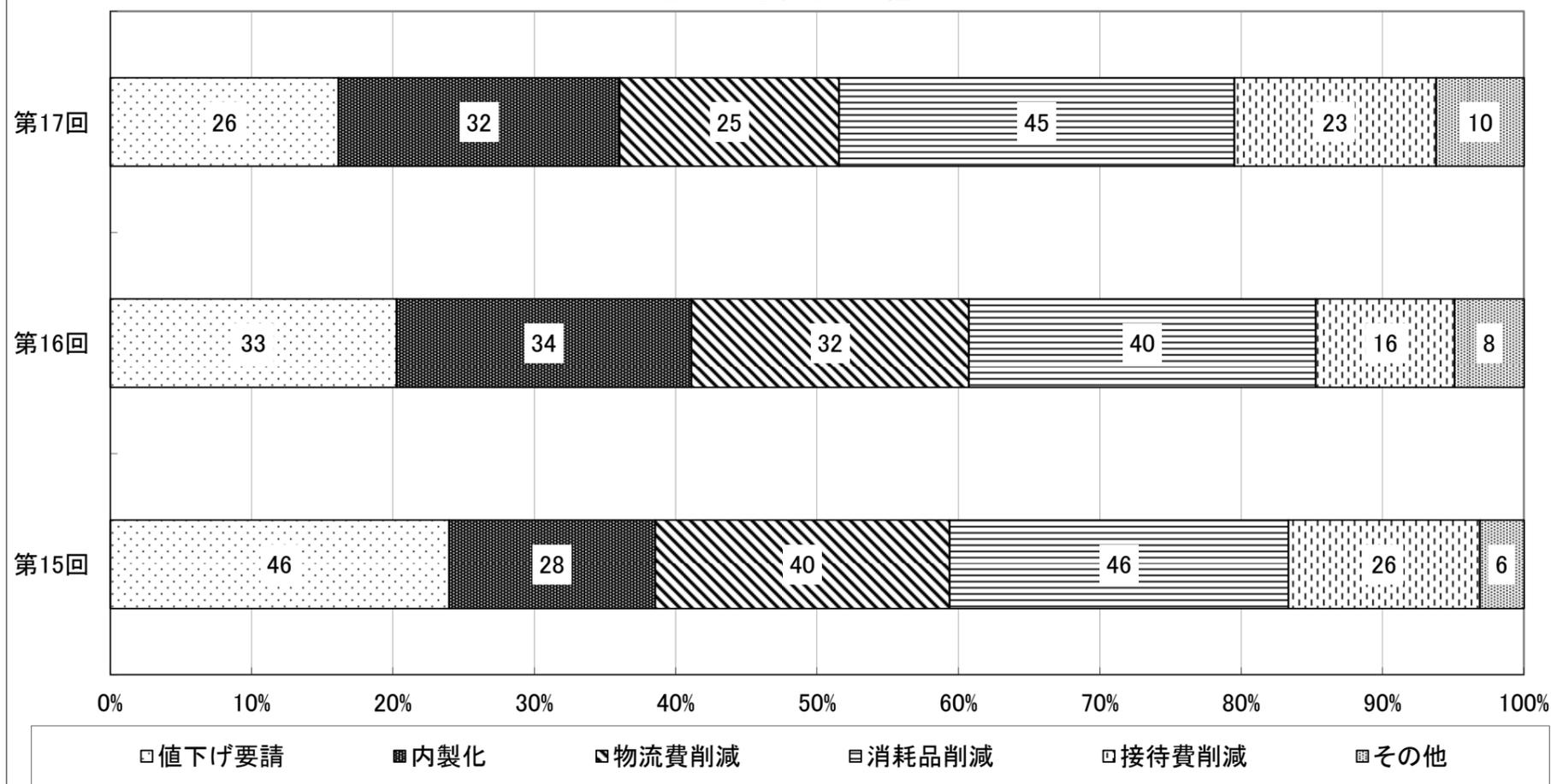
2.経営改善に関する取り組み  
(ア)売上増加に対する取り組み



その他の内容

- ・上記全項目について活動を進めています
- ・取り組んでいません
- ・特にしていません
- ・商品、サービスの品質向上

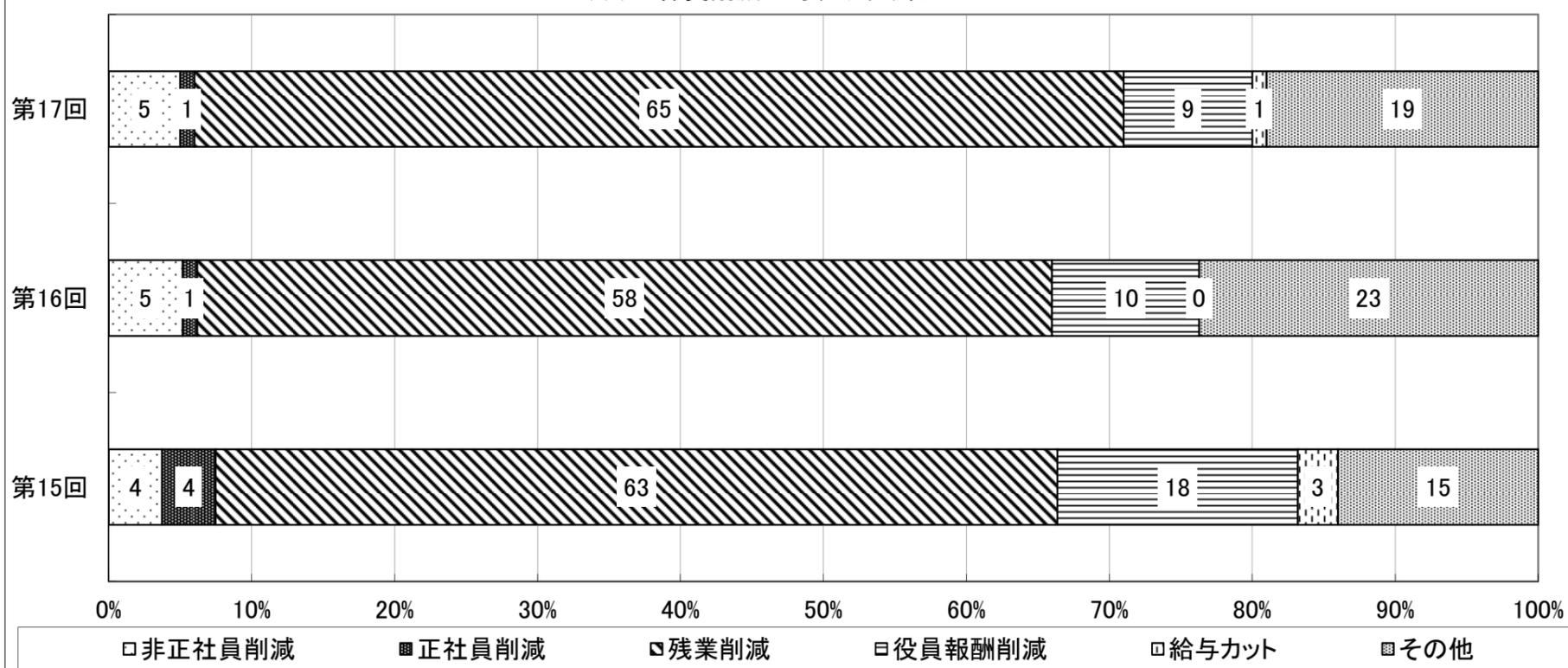
2.経営改善に関する取り組み  
(イ)コスト削減に対する取り組み



その他の内容

- ・加工工程の変更や新素材の採用によるコスト削減等
- ・全てにおいてコストの見直しをしています。
- ・上記全項目について活動を進めています
- ・コスト削減にも限界がある
- ・無駄な経費のチェック
- ・特になし
- ・上記の問の全て
- ・記述なし 3件

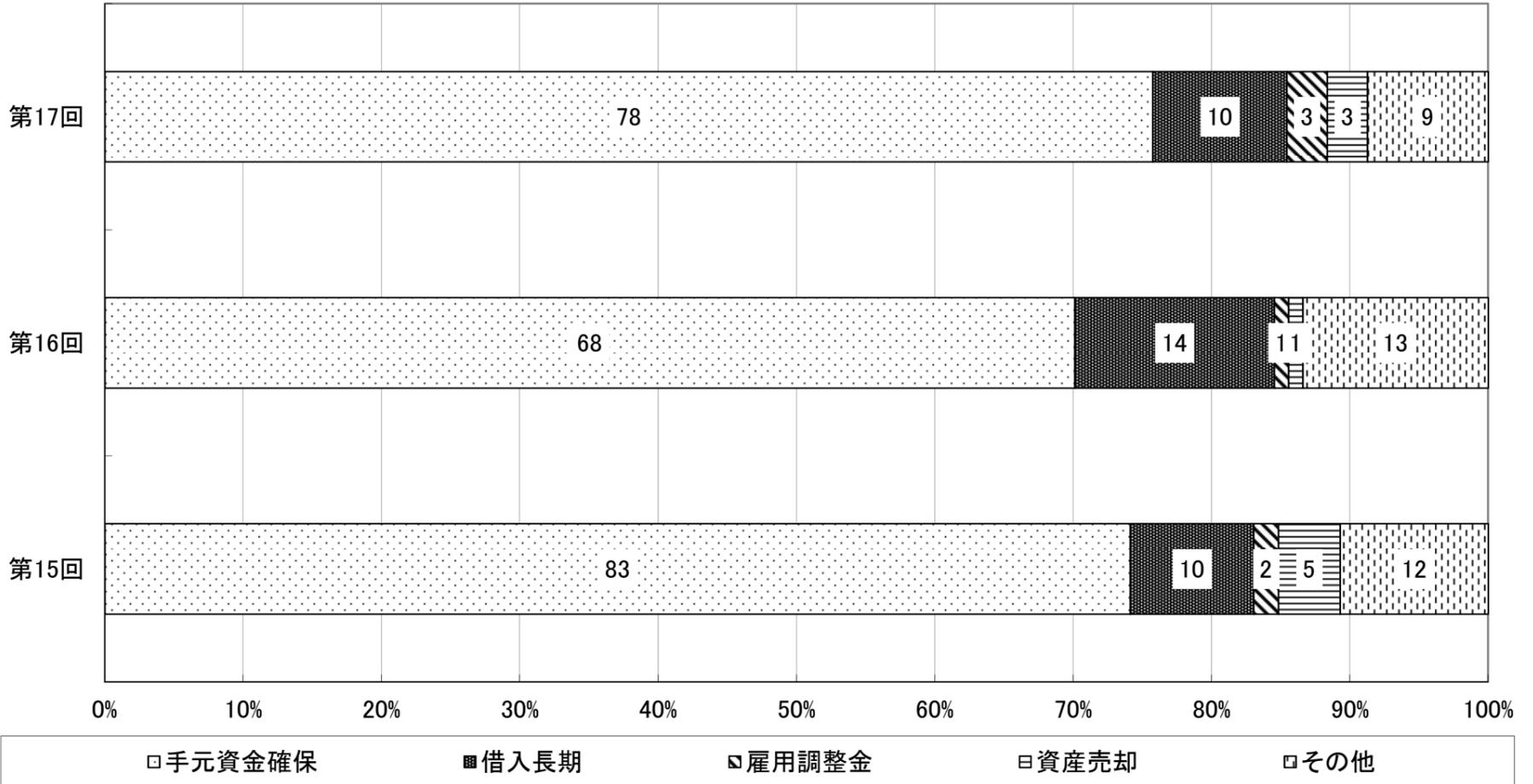
2.経営改善に関する取り組み  
(ウ)人件費削減に対する取り組み



その他の内容

- ・無駄な残業削減はあるが、人件費削減よりも、売上拡大、収益性向上に努めています。
- ・業績の認識とそれに見合う賞与の支給
- ・増員と賃上のため増加しているがシステム改訂やRPA導入等で事務作業の削減に取り組んでいる。
- ・時間外労働の適正化
- ・時間外労働の短縮、作業効率の上昇
- ・現在は人手不足の為、削減はしていません。
- ・上記内容については具体的に行っていません
- ・人件費削減は考えていない
- ・特になし/取り組んでいません 等 10件
- ・記述なし 1件

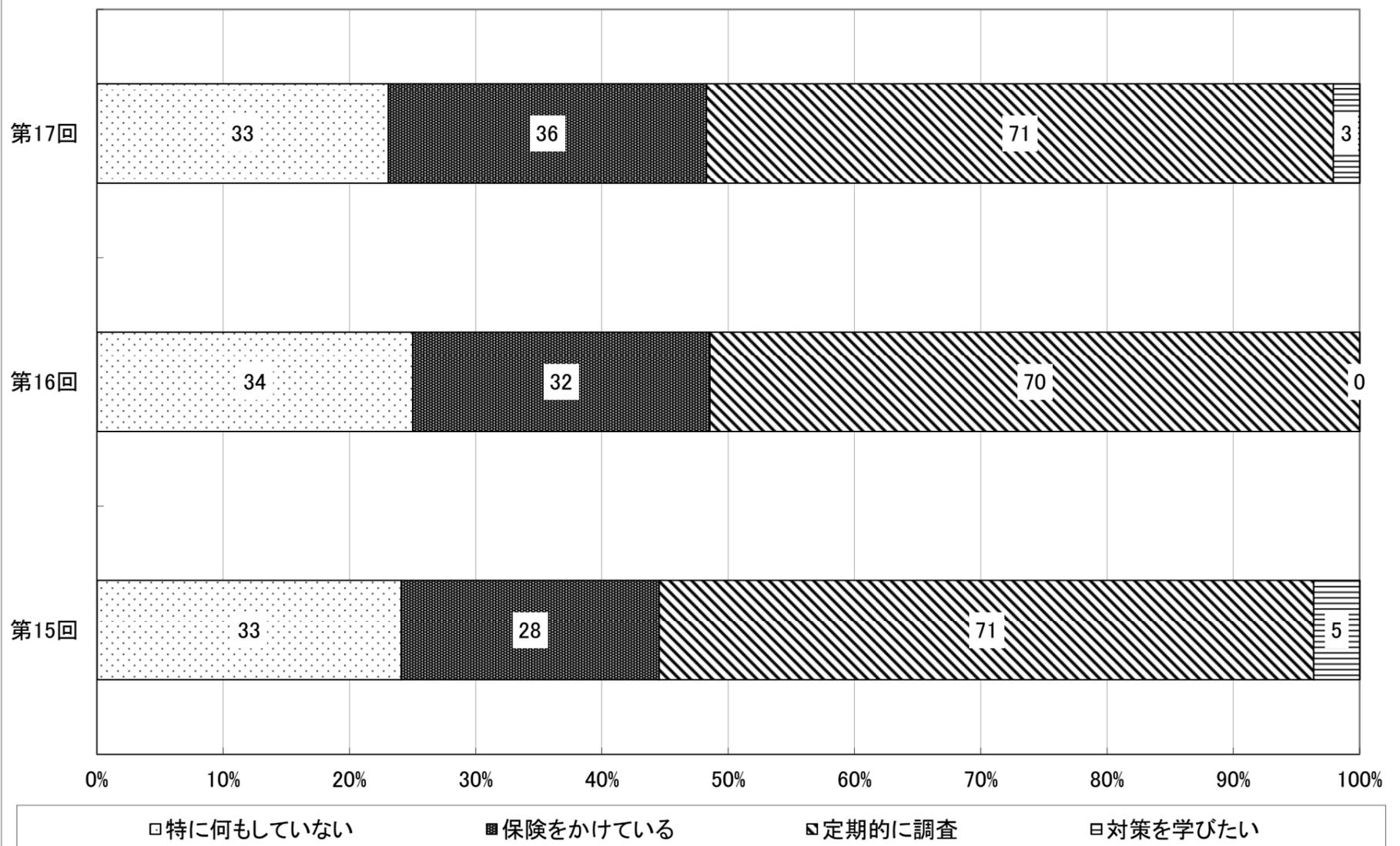
2.経営改善に関する取り組み  
(工)資金に対する取り組み



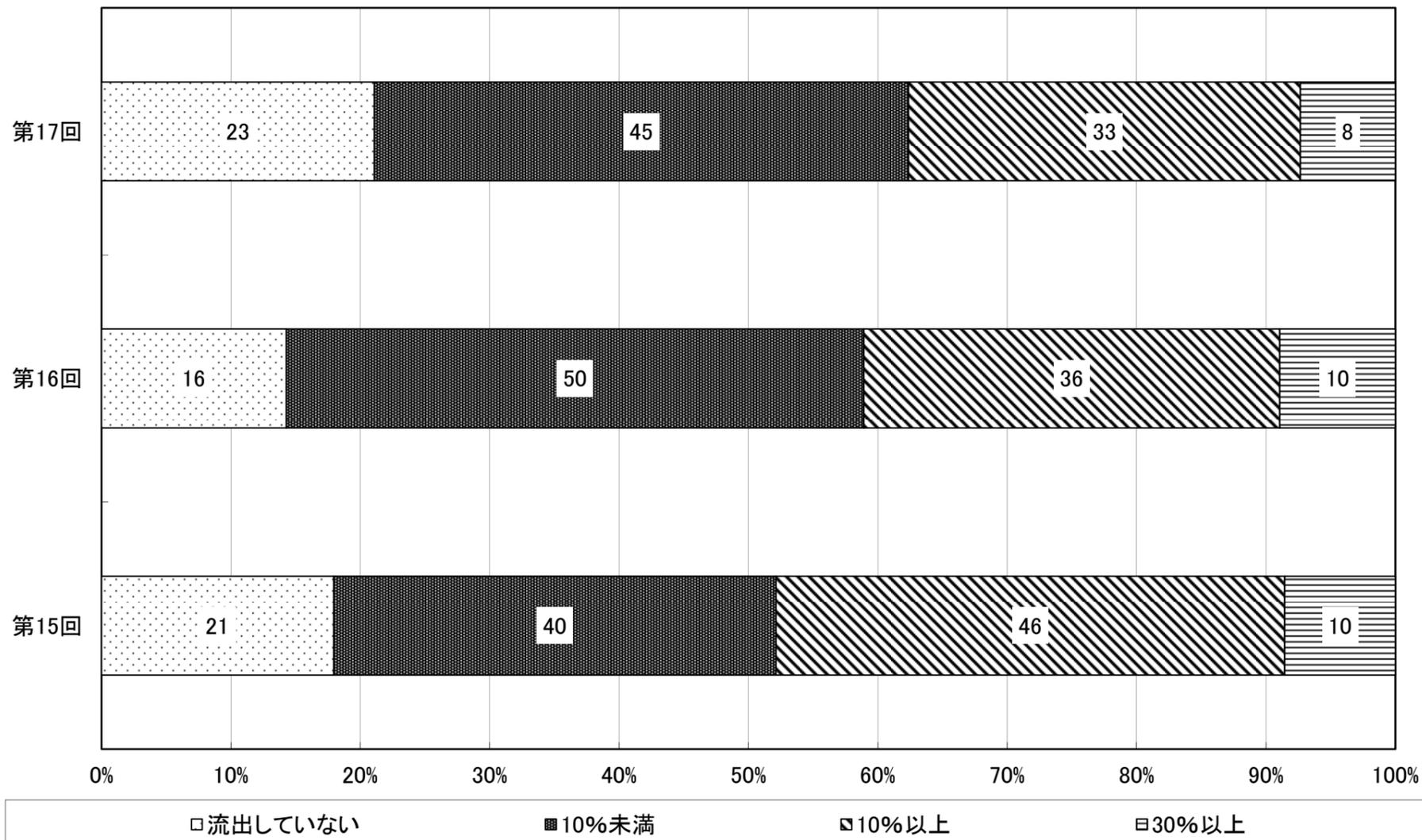
その他の内容

- ・親会社CMS
- ・回転率を上げることにこだわっています。
- ・金融機関への依存なし
- ・借入金の圧縮
- ・問題はないので特別なことは行っていません。
- ・取り組んでいません
- ・特になし/現状特になし 3件

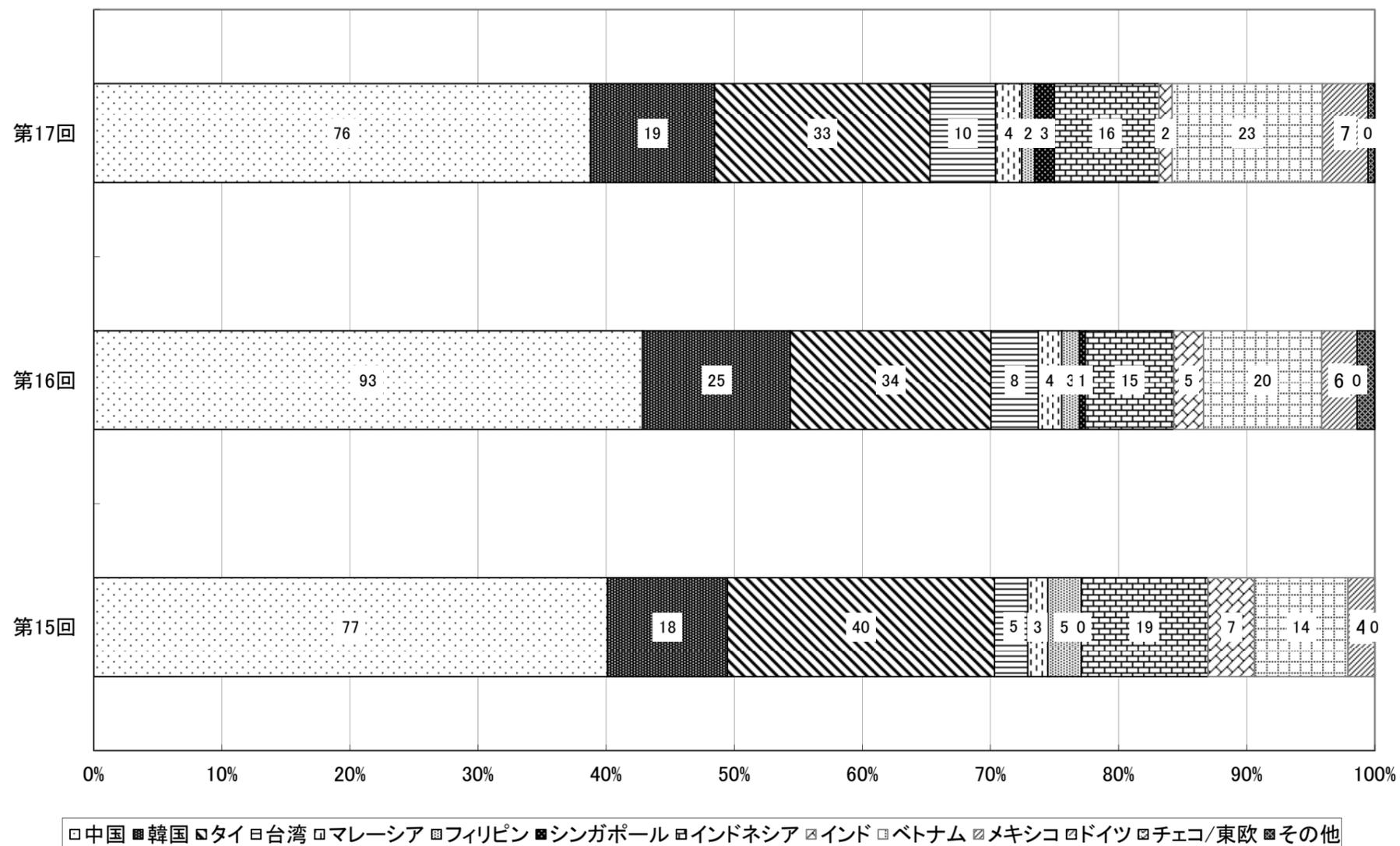
3. 与信管理に関して



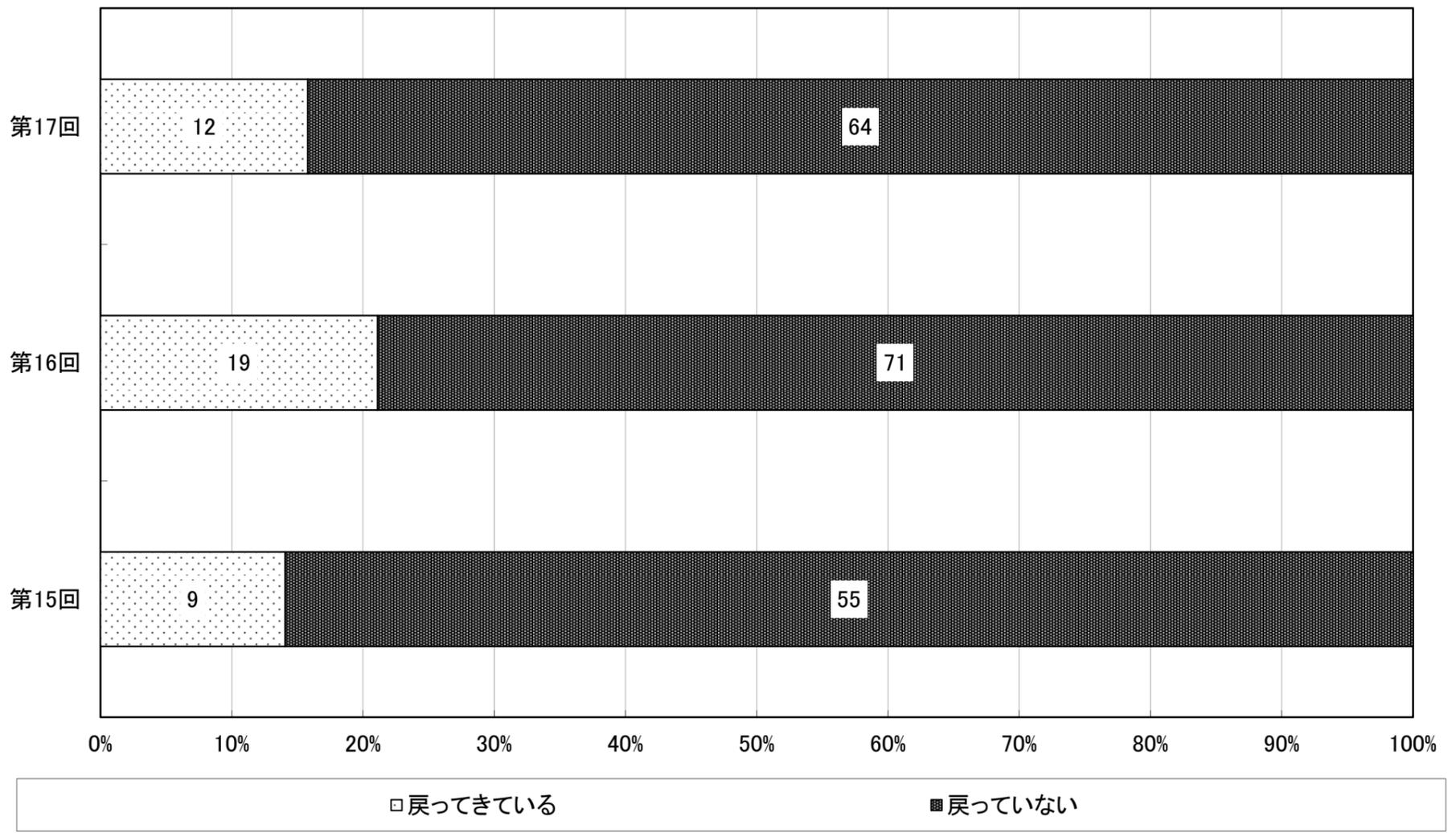
4. 空洞化に関して  
 (ア)①②仕事が海外に流出しているか？その割合は？



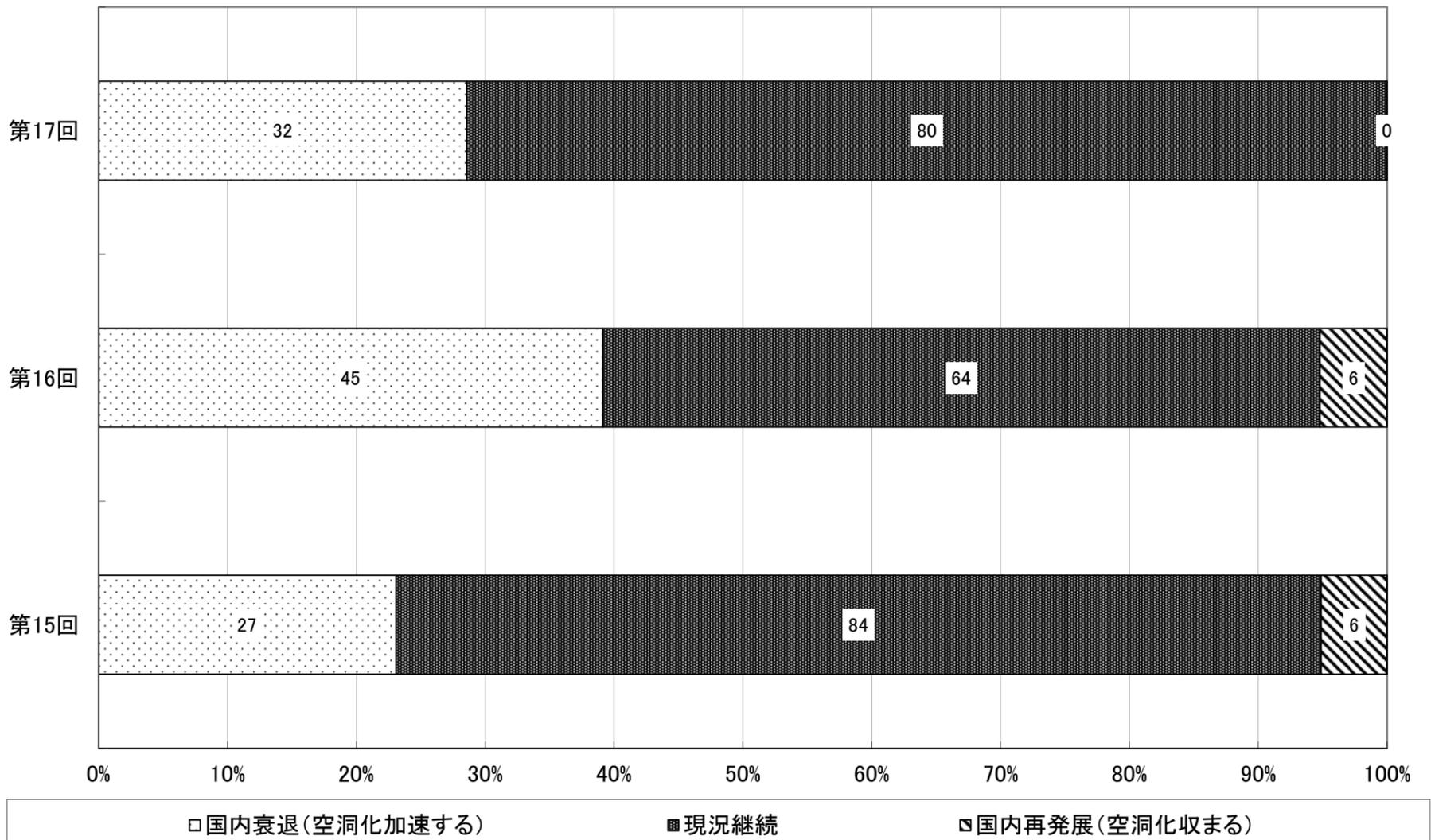
4. 空洞化に関して  
 (ア)③主な流出先



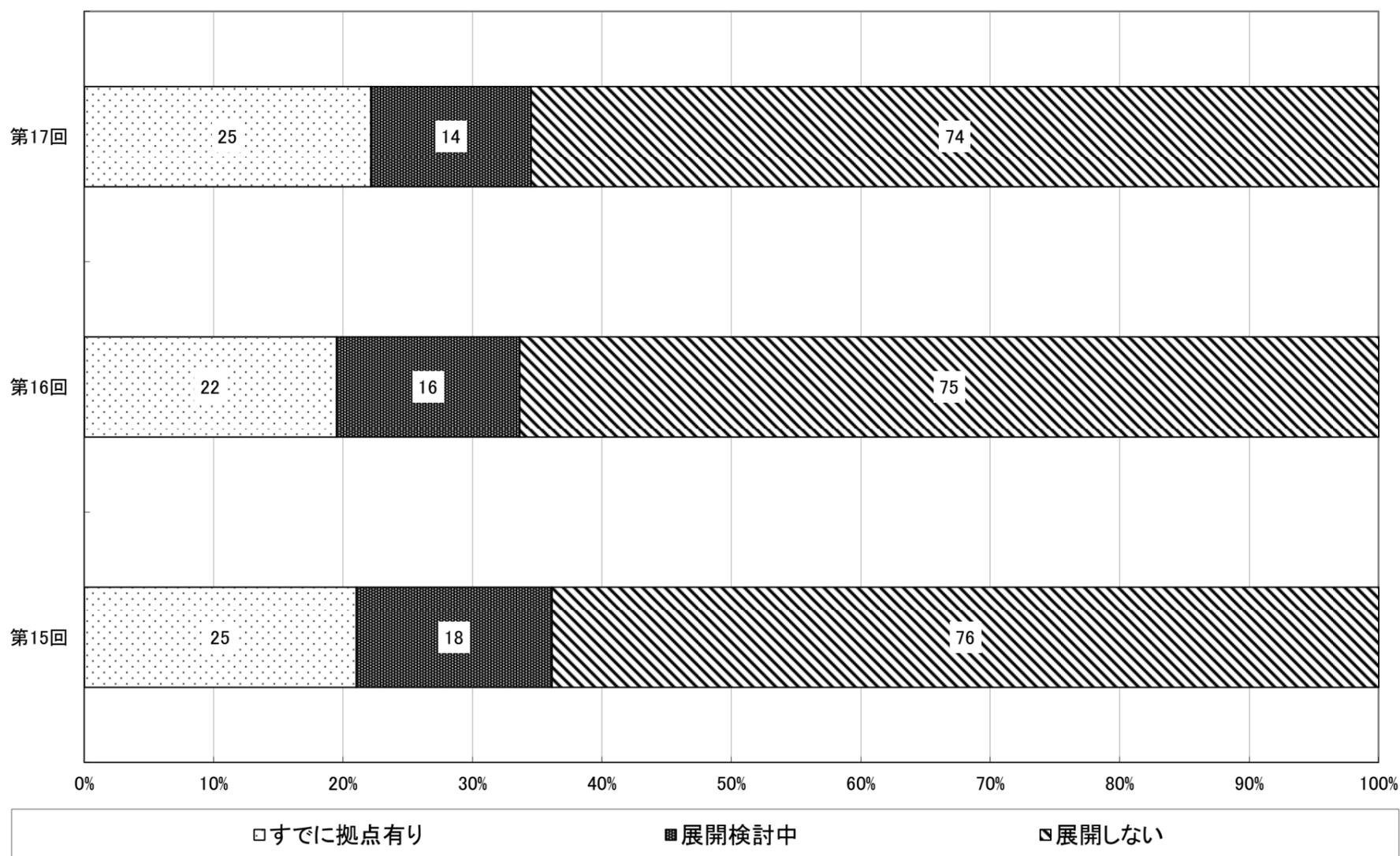
4、空洞化に関して  
(ア)④流出した仕事



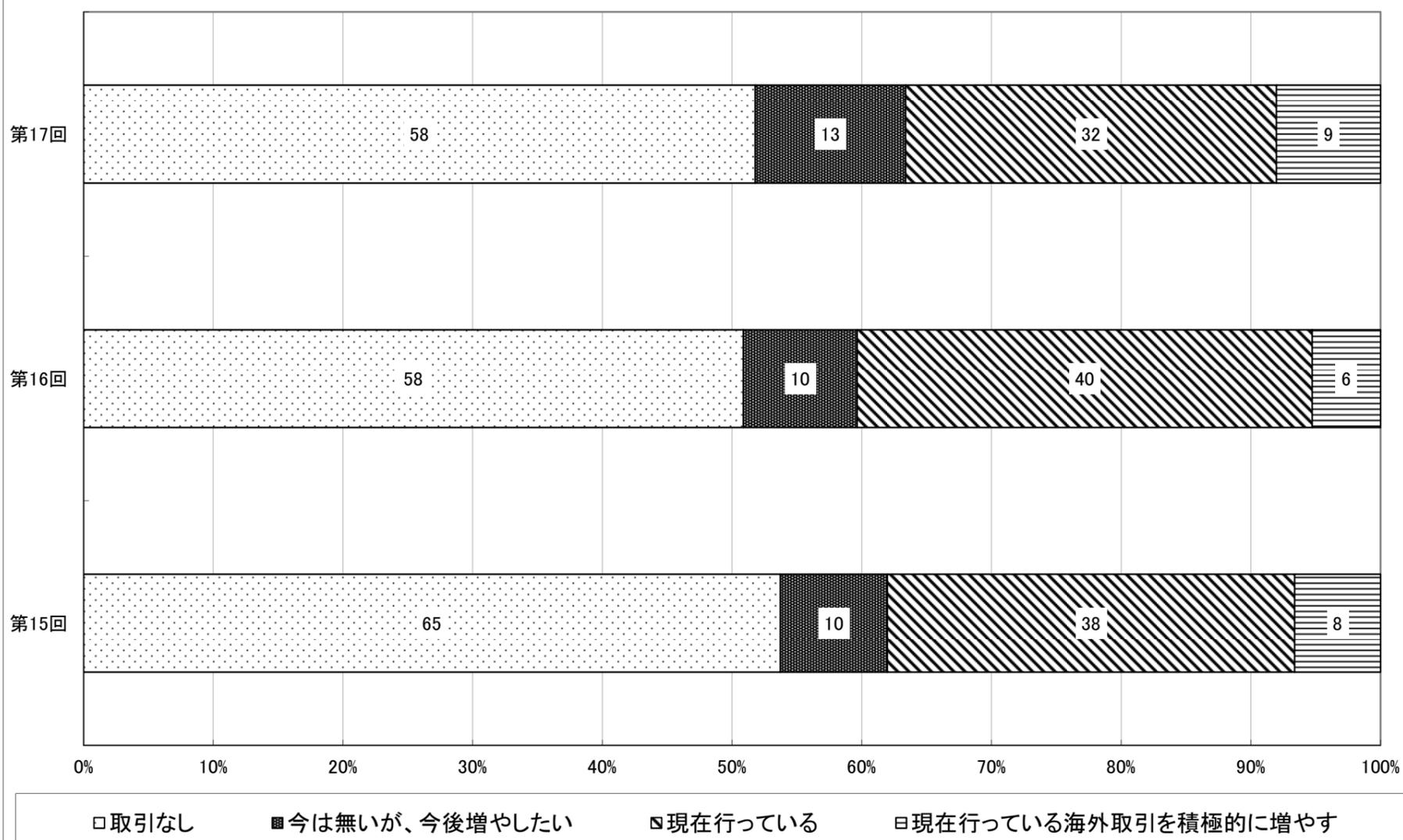
4. 空洞化に関して  
(イ)空洞化は将来どうなるか



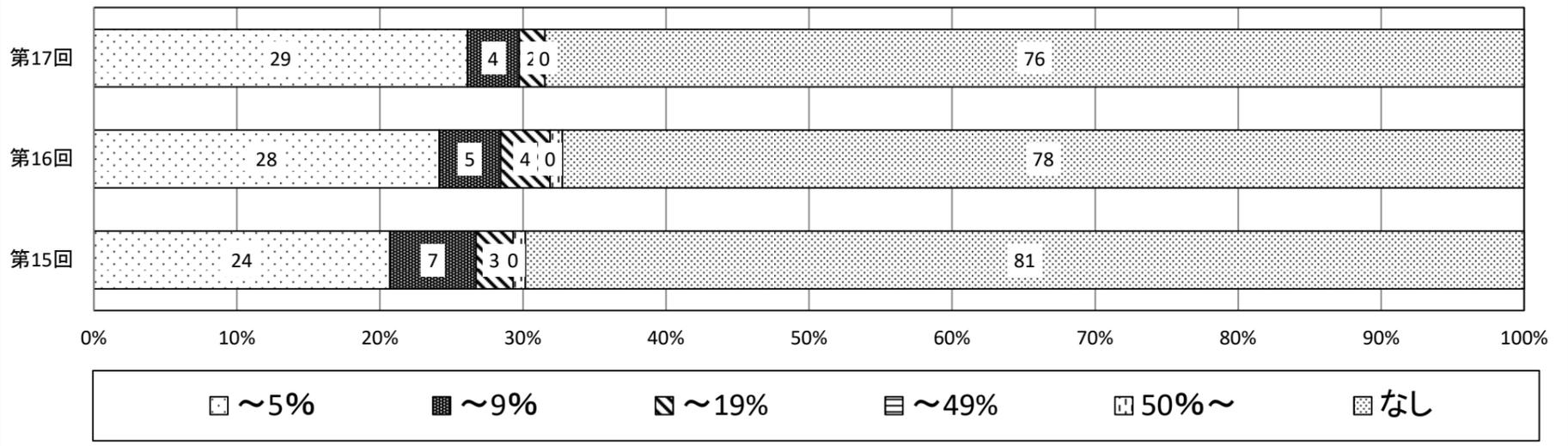
5. 海外展開について  
(ア) 海外での事業活動



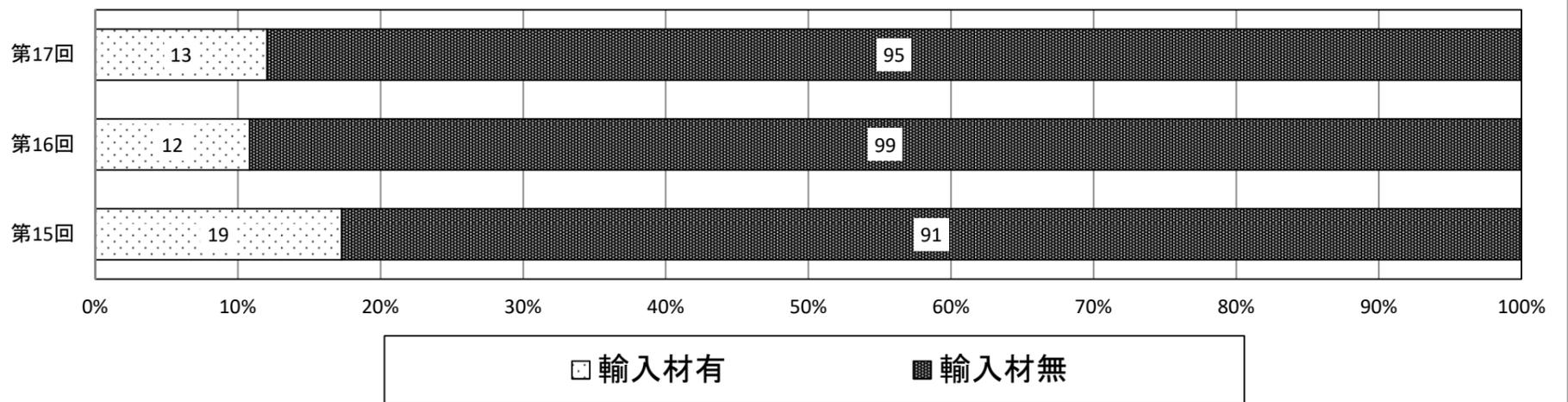
5. 海外展開について  
(イ) 海外との取引



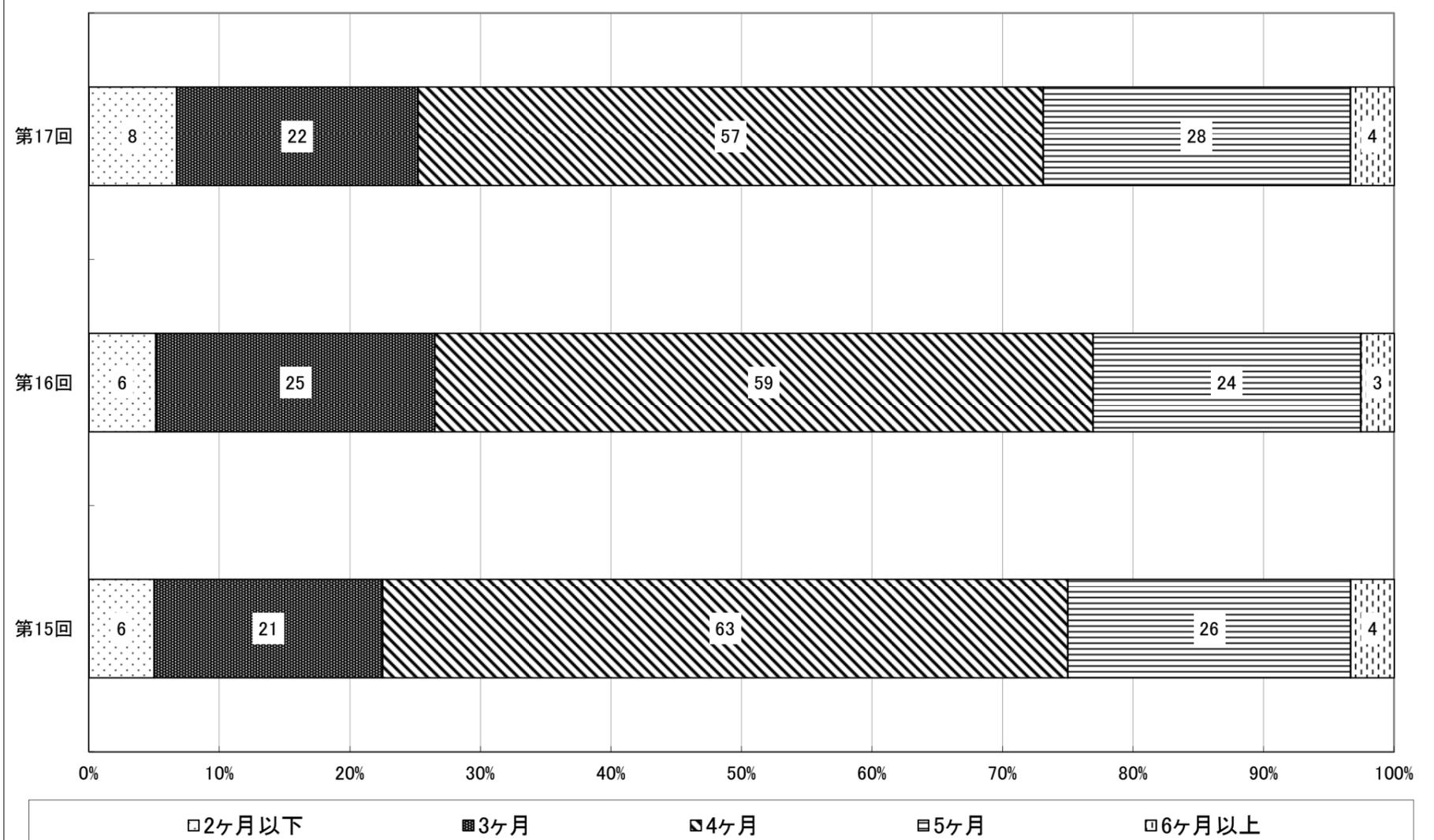
6. 輸入材について  
(ア) 輸入材を扱っているか



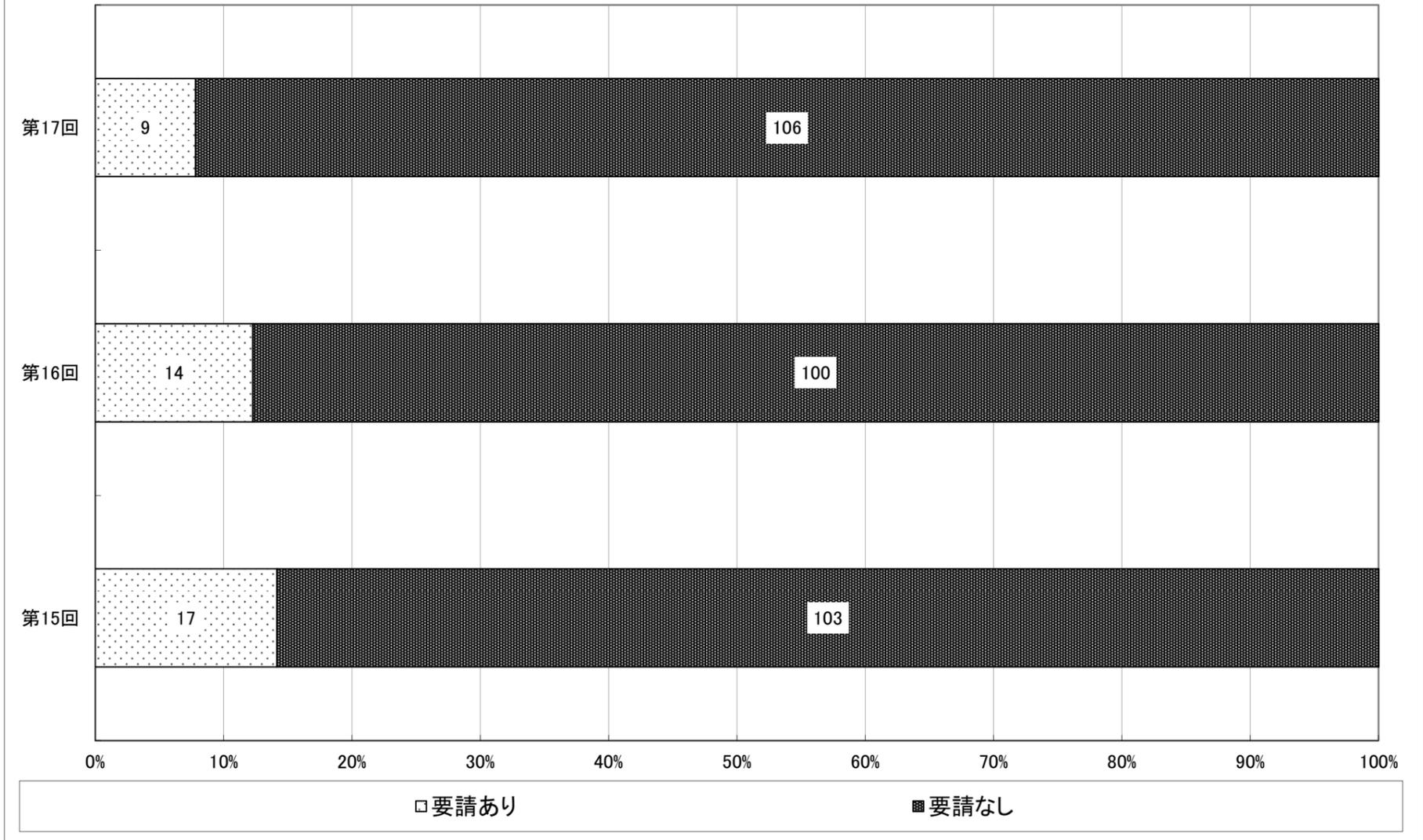
6. 輸入材について  
(イ) 支給材で輸入材があるか



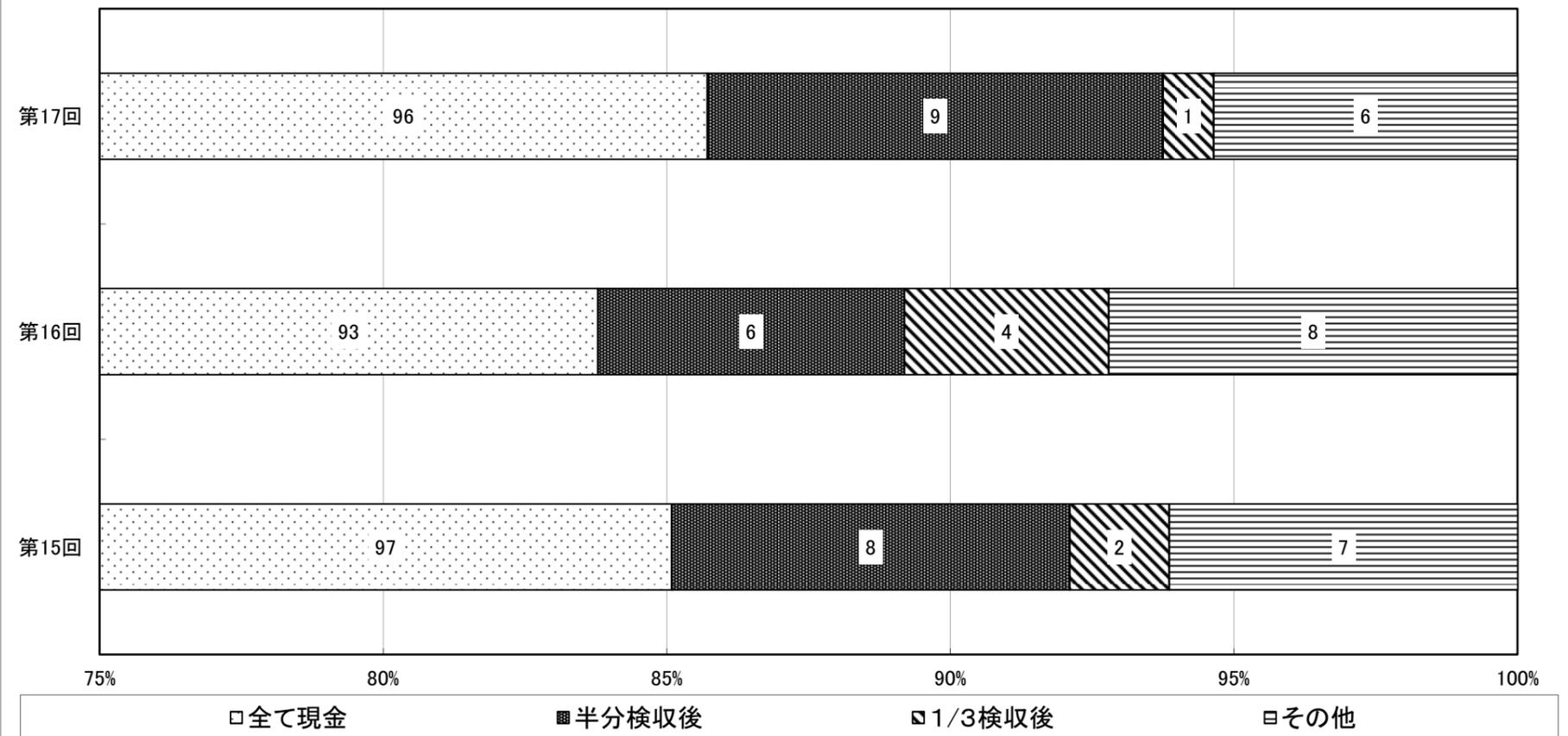
7. 商慣行の課題、問題点  
(ア) 現金化までに要する期間



7. 商慣行の課題、問題点  
 (イ)受注金額決定後、請求後の値下要請



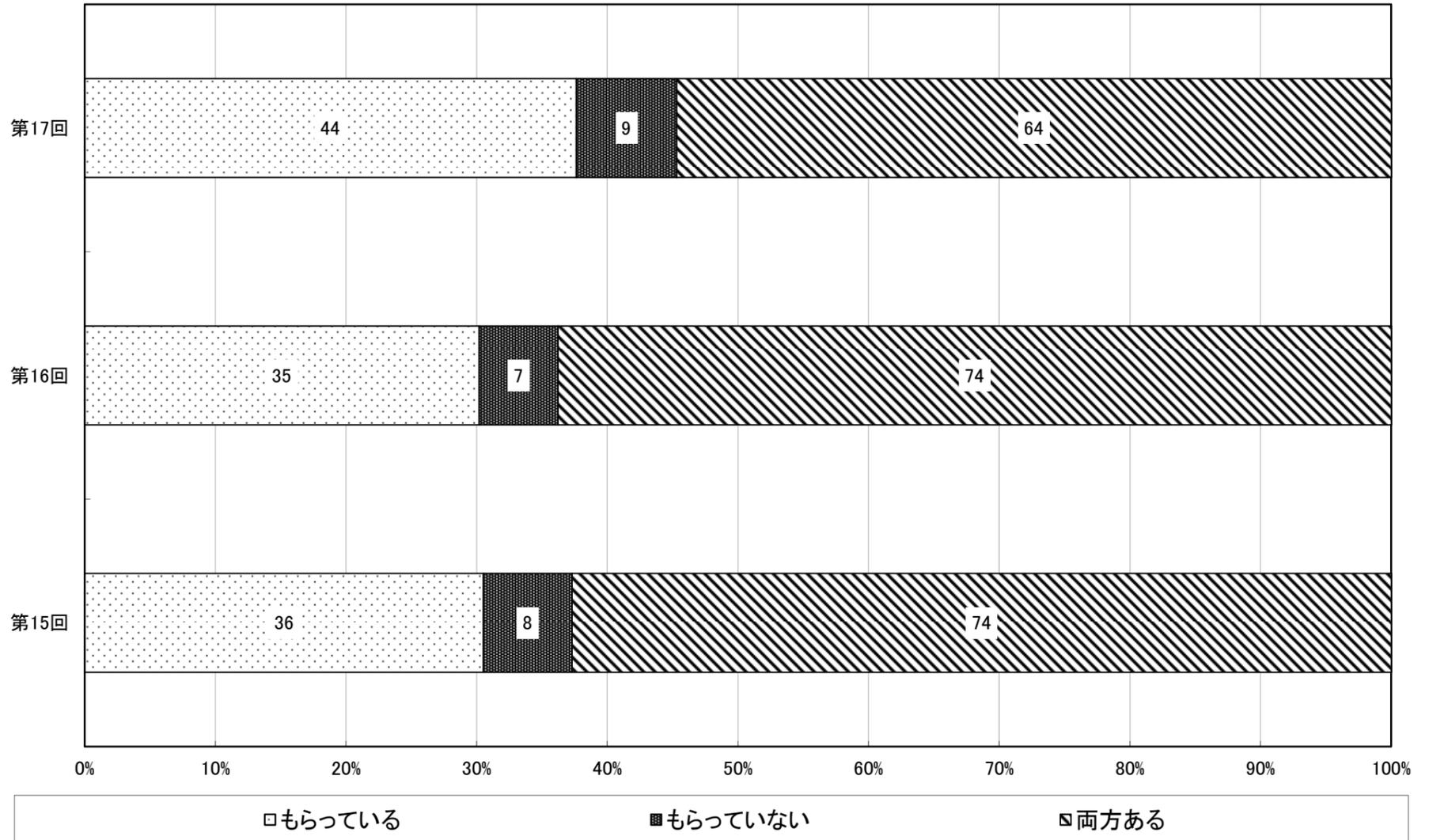
7. 商慣行の課題、問題点  
 (ウ)今後の希望支払条件



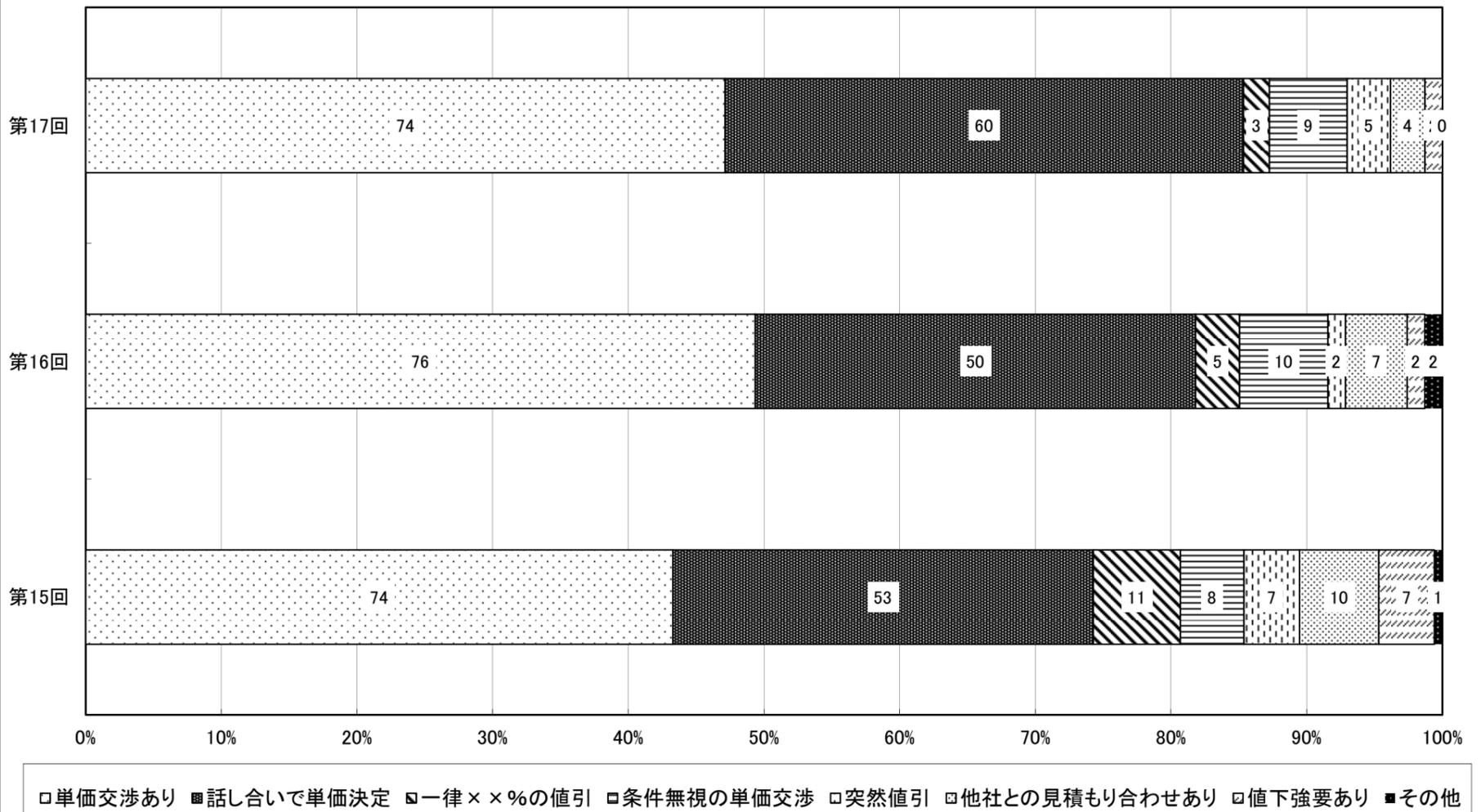
その他の内容

- ・なるべく短いサイトで支払ってほしい。
- ・仕入れ条件と同等もしくは短く
- ・支払い条件現金にもらえるなら良いけど、そんな事出来ますか？こんな質問はおかしいですね。ナンセンスです。
- ・サイト期間を短くしてほしい
- ・現金が望ましいが固執は出来ない
- ・手形取引を廃止したい

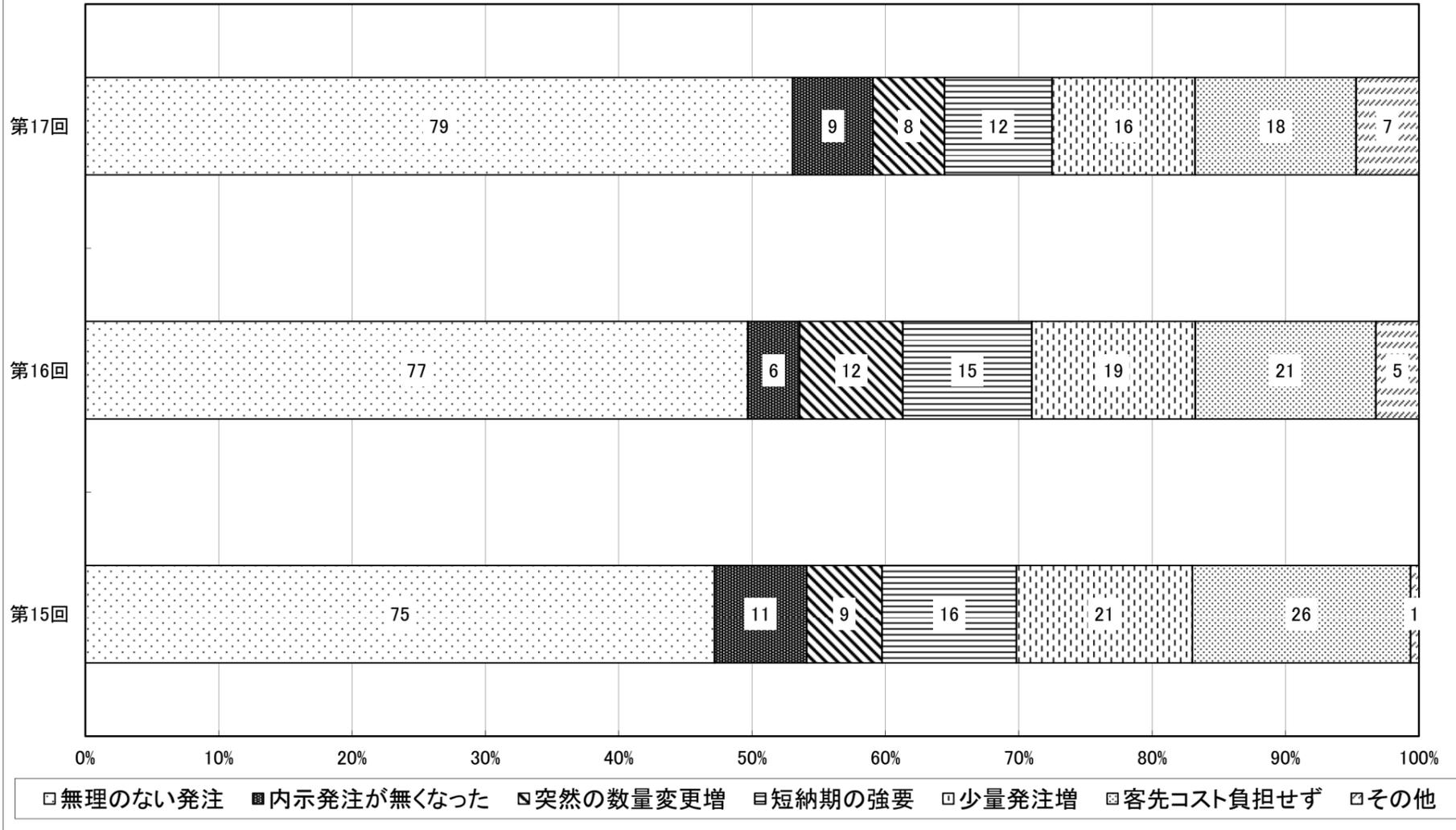
7. 商慣行の課題、問題点  
(エ) 金額の入った注文書を受けとっているか



7. 商慣行の課題、問題点  
(オ) 単価交渉



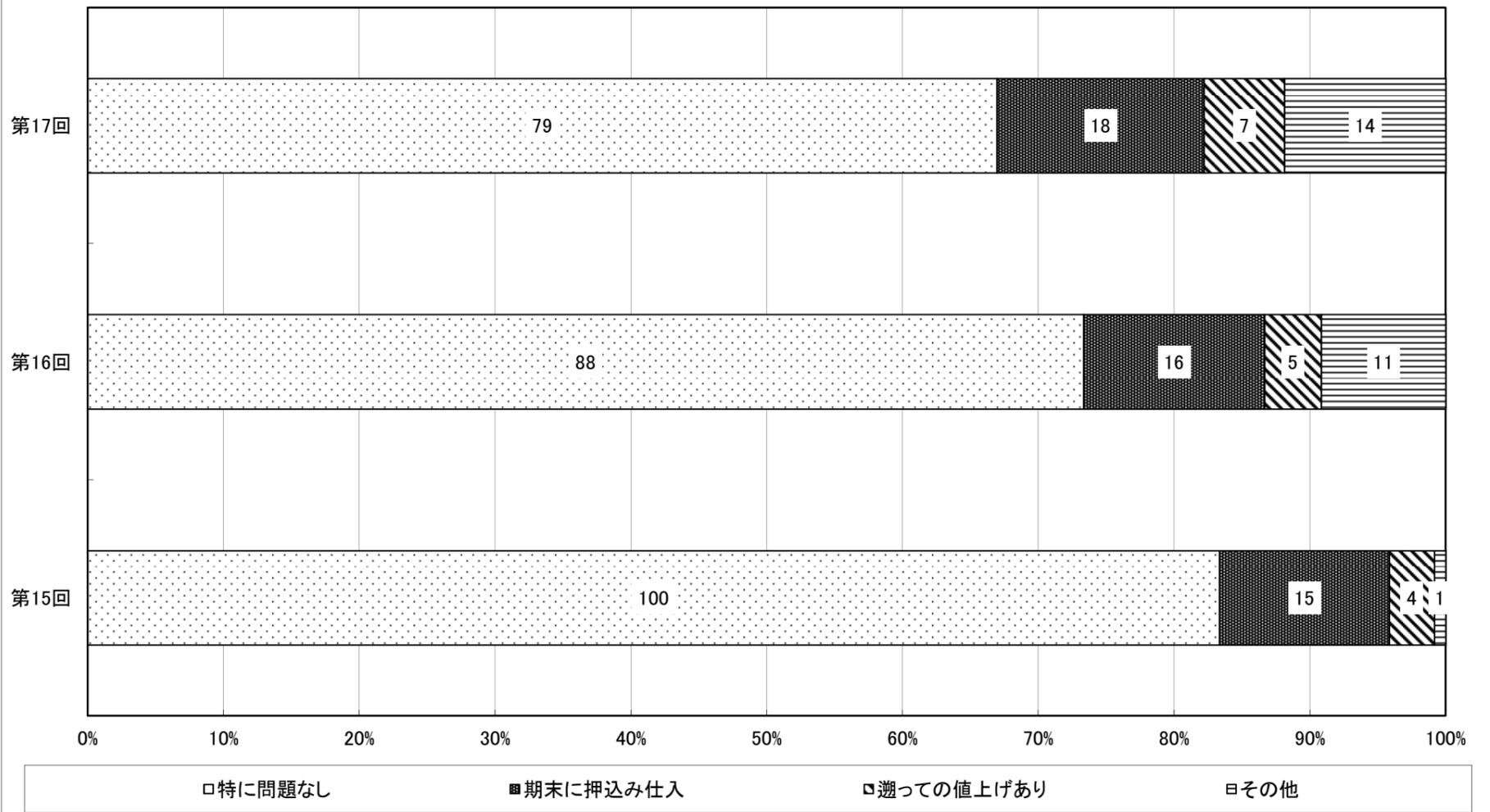
7. 商慣行の課題、問題点  
(カ)発注方法



その他の内容

- ・需要家とメーカーの取決めである発注枠(メーカーでは受注枠)以上の注文量が発行されている
- ・既存の取引先から、必要な分の注文がFAXで送られてきます。
- ・スポット発注が多く、先が読めない
- ・短納期が当たり前の業界。客先要望には極力対応している。
- ・得意先によって色々ある。答え様がない
- ・常に相見積もりが多くなった
- ・短納期

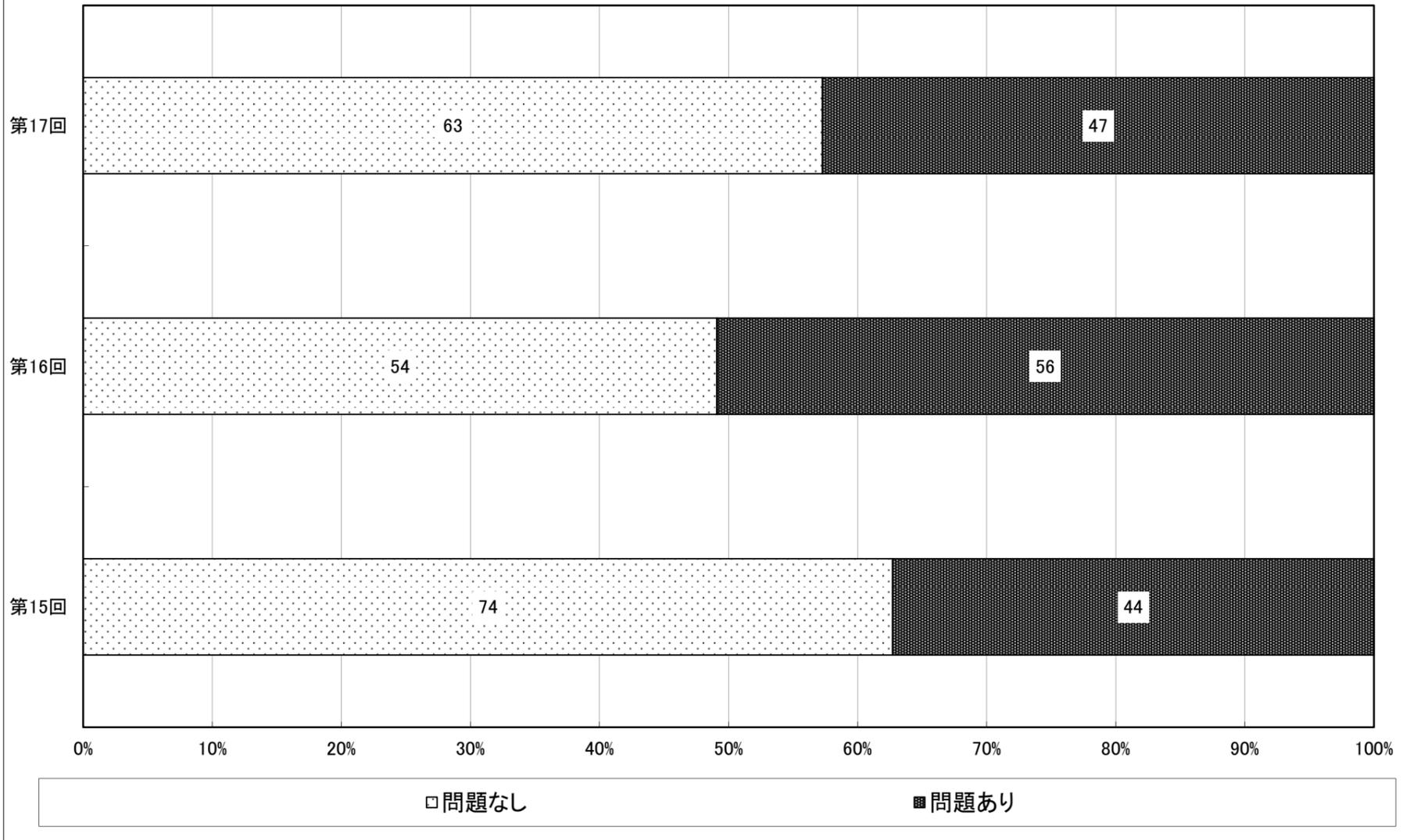
7. 商慣行の課題、問題点  
(キ)仕入に関して



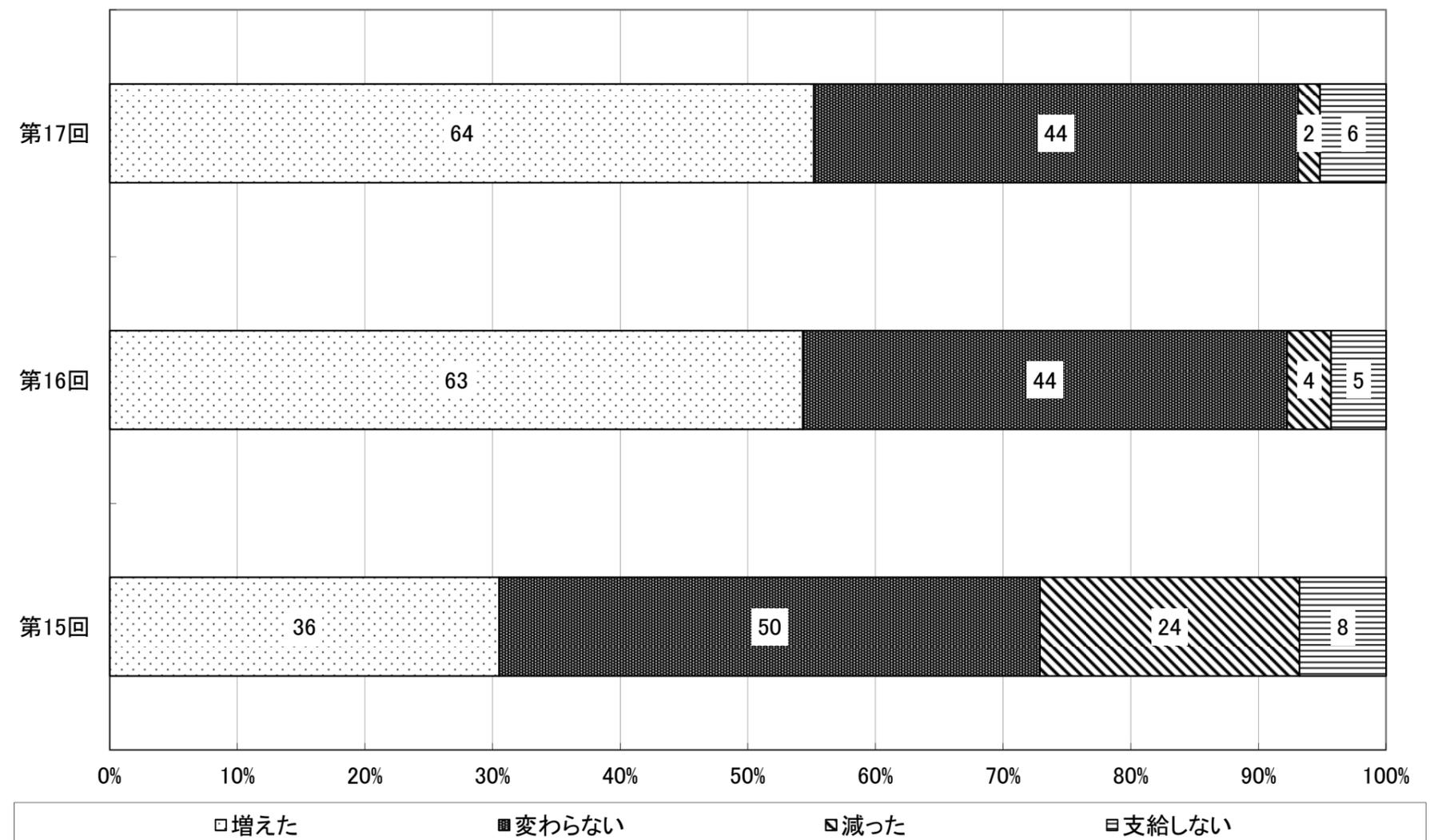
その他の内容

- ・納期はバラバラ、発注ロットに対してバラつきが多い。
- ・納期が掛かり、発注数量の規制がある
- ・輸送便がつかまらないとの理由で品物が入ってこない(1ヶ月以上)
- ・品薄、値上がり
- ・数量制限継続中。
- ・仕入先の再編等ある
- ・価格交渉中(値上げ要請)
- ・メーカーの欠品があります
- ・納期遅延や枠制限等。
- ・欠品状態が続いており若干仕入困難
- ・値下げもある
- ・タイトになっている
- ・欠寸がある
- ・記述なし 1件

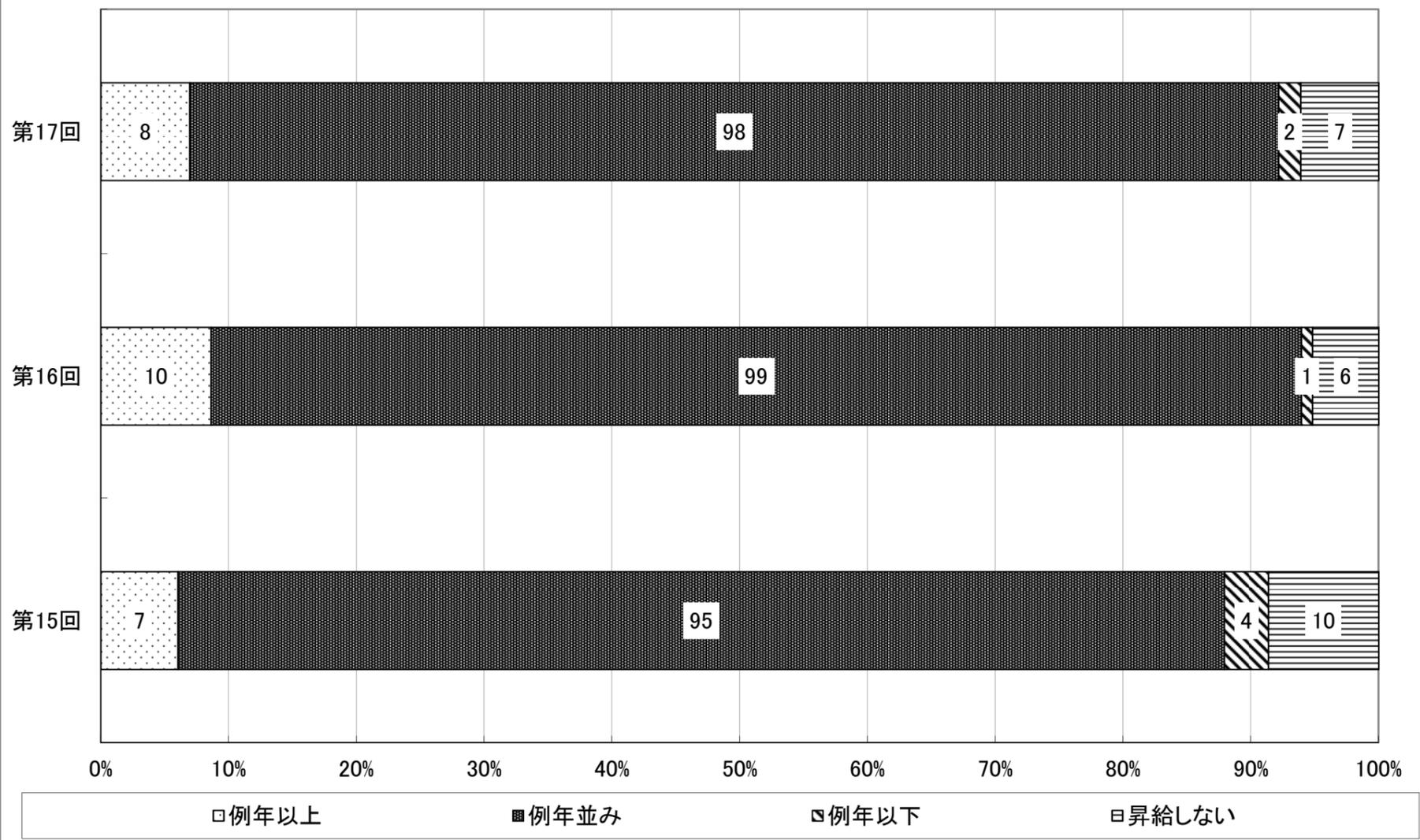
8. 人材に関して  
(ア) 社員の高齢化



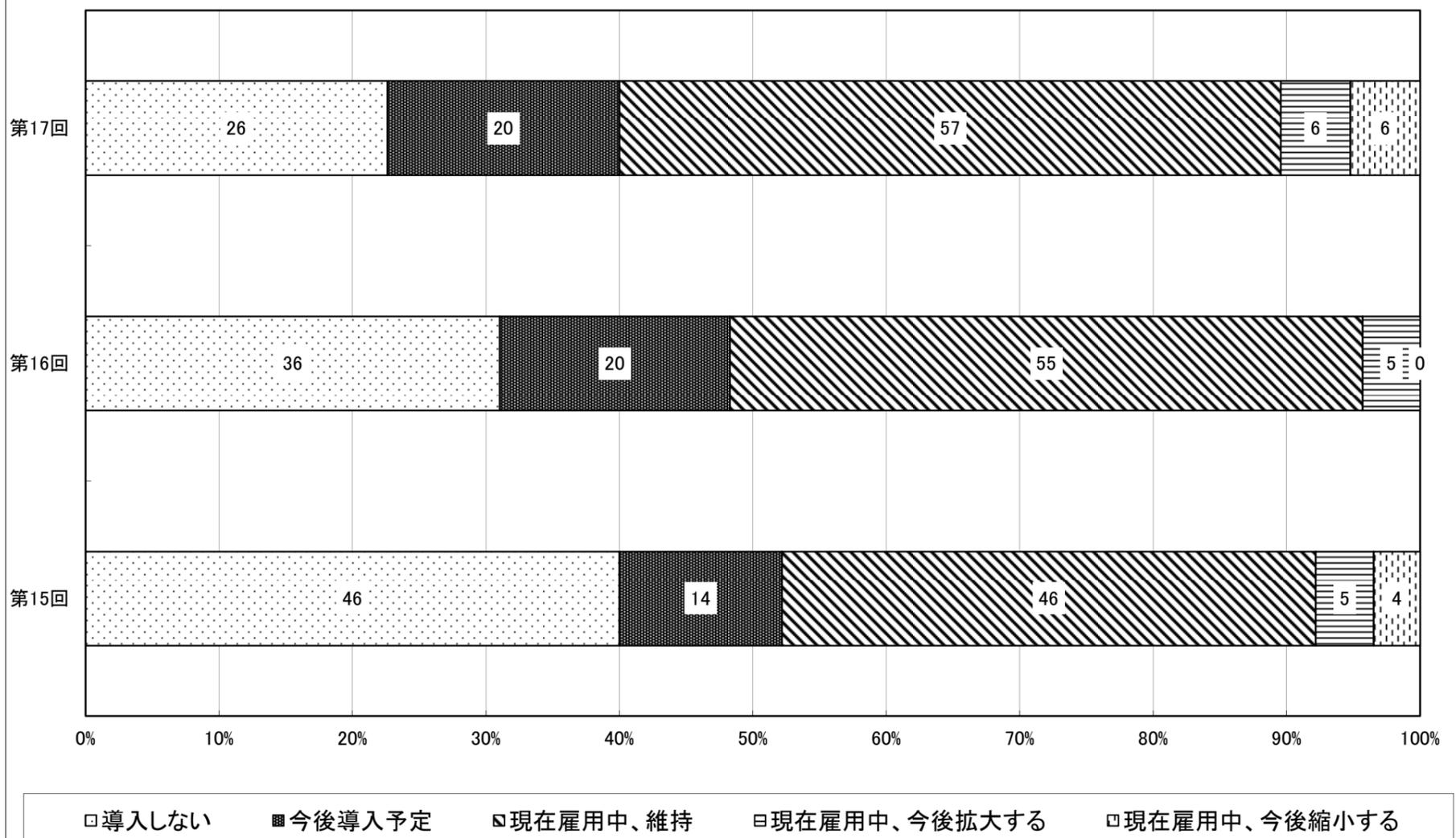
8. 人材に関して  
(イ) 賞与の総額 前年比



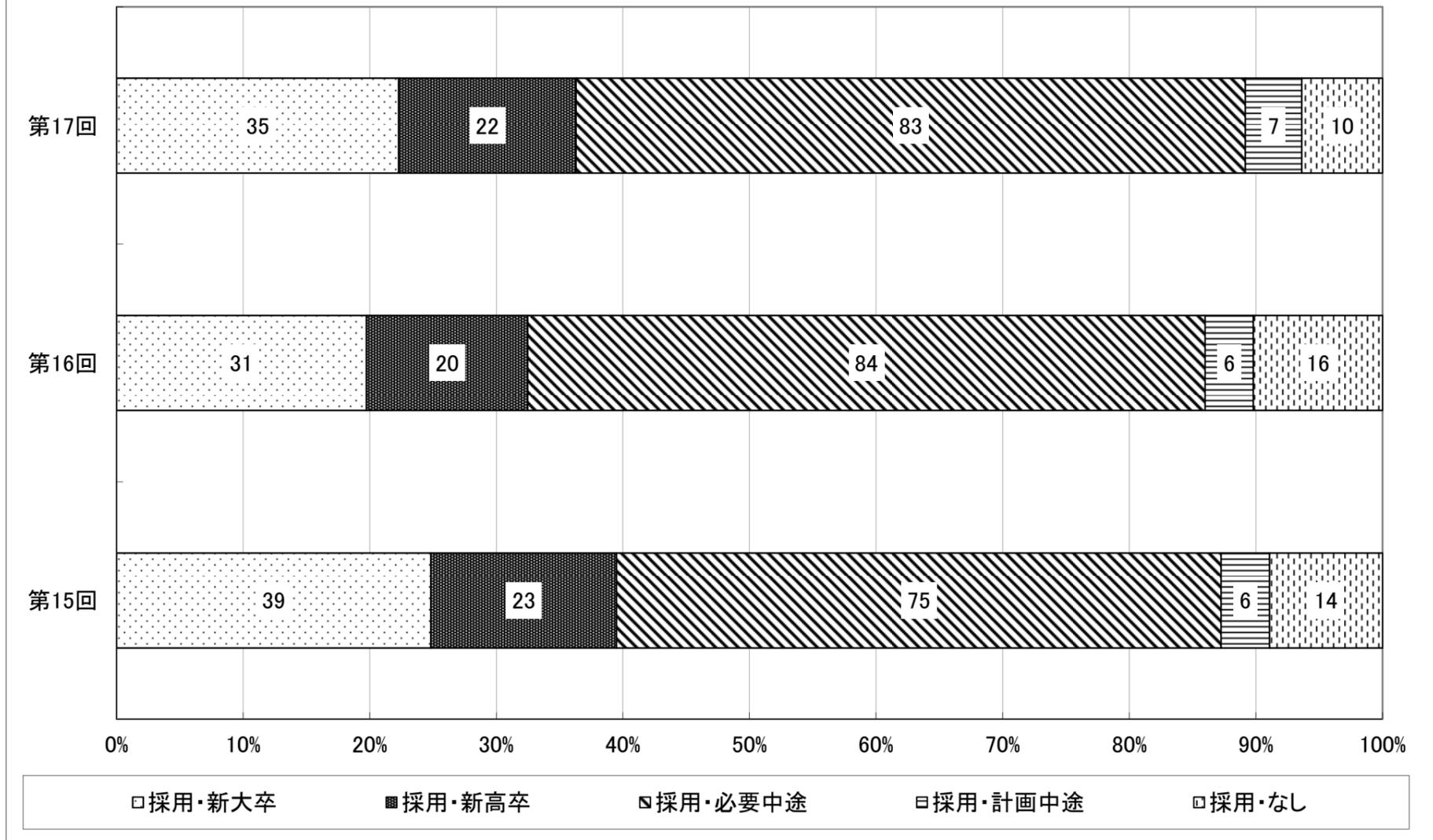
8. 人材に関して  
(ウ)次年度の昇給について



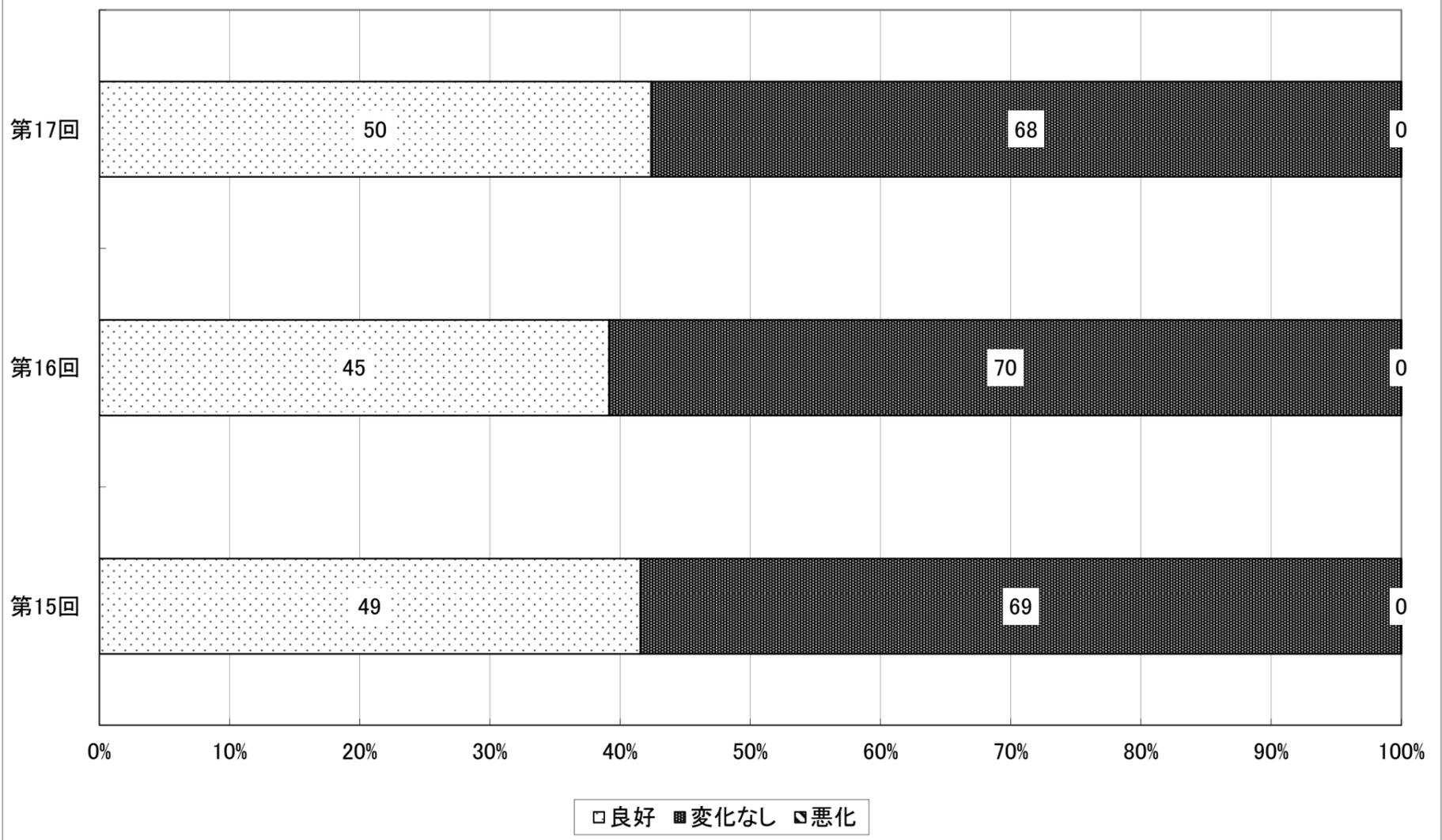
8. 人材に関して  
(エ)契約社員



8. 人材に関して  
(オ)社員採用に関して



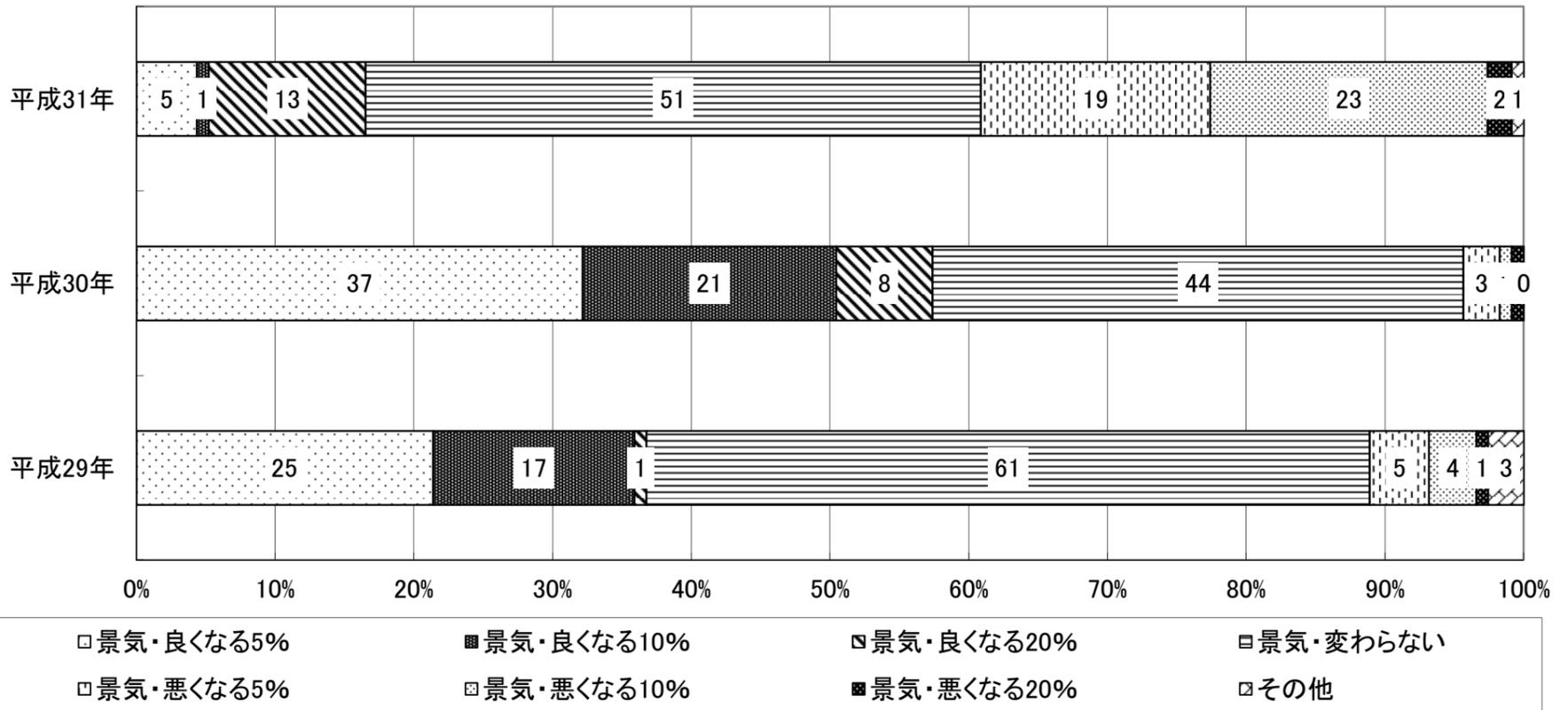
9. 金融機関との関係



「ご意見」の内容

- ・人手不足は日を迫うごとに悪化しつつあるように思います。
- ・変化なし
- ・特にありません
- ・特にございません
- ・特になし

## 10. 今年の景気について



### 「ご意見」の内容

- ・米中の貿易摩擦による経済悪化を懸念する。アップルショックによる年末からの株価乱高下や円高基調も気になるところだ。
- ・不透明
- ・先行き不透明の為、良くなるか悪くなるか判らない
- ・米中の貿易摩擦や米国、中国の景気減速の影響を日本の企業も受けて、一昨年・昨年のような好況は続かないであろう。
- ・今年は消費税の増税が予定されており、景気の悪化を心配しています。
- ・米中の貿易問題で影響がさらに出そうな気がします。
- ・混沌としている状況で景気の判断はできない。ピークアウトと判断した経営としたい。
- ・建産機、工作機械も調整に入り先行きが不透明です。
- ・昨年11月位から全般に低調気味。
- ・世界経済が混とんとしており、先の見通しが立たない。特に自動車情報には注視していきたい。
- ・2019年1月～12月は、前年同期に比べ微少な景気悪化と考えるが、中米の政治・経済闘争の影響が不透明
- ・業種間に格差が出てくると思います
- ・特にございません
- ・中米貿易摩擦の長期化による世界経済全体の失速

### 〈自由意見〉

設問における最盛期についてはこの10年間の中で比較しました。

最盛期という指標があいまいではないでしょうか。

特にございません